災害時の保育園の危機対応に関する研究

研究代表者 石井 博子 (なみのり第二保育園副園長)

共同研究者
小川 惠美 (あすなろ保育園副園長)

宮林 佳子 (さくらぎ保育園副園長)

田中 哲郎 (長野県長野保健福祉事務所所長)

研究の概要

地震などによる災害に対して、保育園は園児の安全を守るためにどのような対策を立て、災害発生後にどのような対応を行っていく必要があるかを明らかにすることを目的に、東日本大震災を経験した会員園を対象に調査を実施し、検討を行った。

対象と方法は、災害救助法適用市町村所在の日本保育協会会員園473施設及び、帰宅困難者の多かった東京都所在の会員園741施設を対象とし、調査期間は平成23年10月に郵送による調査を実施した。

その結果、回答施設数は青森県24園、岩手県48園、福島県49園、茨城県131園、栃木県18園、千葉県3園、東京都392園であった。震災による園児数の減少があった施設は16.7%で、減少数は、0~9名が90園、10~19名が10園、20~29名が2園、40名~49名が2園、110名以上が1園であった。震災発生時、74.6%の園では施設長が在園していたが、出張中の園が24.2%あり不在時での対応がされていた。園児が避難待機をした場所は、園敷地内が83.2%、園敷地外が15.8%で、敷地外に避難した園は、事前に避難場所と決めていた場所に71.4%の園が避難していた。

被害状況は、35.2%で園舎に被害があり、壁などに亀裂が20.0%の園でみられた。破損物や転倒・落下物があった園は34.9%、園庭に被害があった園は12.2%で、亀裂が53園、液状化が13園であった。津波による被害を受けた園は18園で、津波が近くまで来た園が8園、一部襲われた園4園、倒壊した園が2園などであった。震災にる負傷者は6園で発生していた。

ライフラインの被害状況は、停電があった園は49.9%で、常時停電が64.7%、計画停電は33.2%であった。停電した期間は、常時停電は5日以下が85.7%で、40日以上が1園あった。計画停電では、71.1%が10日以下で、90日以上が1園あった。断水した園は26.3%で、期間は5日以下が36.6%、 $5 \sim 9$ 日が29.1%、 $10 \sim 15$ 日が10.3%で、60日以上が1園あった。ガスが停止した園は9.3%で、停止期間は、10日以下が54.8%、60日以上が1園であった。

保護者への連絡では、問題なく行えたかでは5段階評価では2.50で、73.8%の園が苦労をしていた。連絡した方法は、固定電話が55.6%、携帯電話48.6%で、少数意見としてテレビやローカルラジオに依頼、地域のFM伝言板、市の緊急放送などであった。今回の震災を経験して今後災害発生時に使用したい連絡方法は、固定電話や携帯電話の使用が減り、パソコンや携帯からのメールが増加した。

お迎え困難児の対応が発生し、震災当日70.1%の園が保育時間を延長し、そのうち最終のお迎えは3月14日の14時だった。保護者がお迎えに来るまでの食料備蓄状況は、5段階評価で4.04であった。幼児食は5段階評価での備蓄度が3.72であり、離乳食は4.06、ミルクは3.88、アレルギー食は3.41、飲料水は3.67であった。照明や暖房器具類の備えは5段階評価で3.57であった。備蓄不足品があったと感じた園は44.8%で、備蓄基準があった園は20.2%で、今後の備蓄対策の必要性を69.8%の園が感じていた。

保育の再開は、翌日3月12日からが68.4%で、10月11日からの再開が1園あった。園再開を他所で実施した園が2.3%で、姉妹園や系列園、行政が準備した建物、国民宿舎、閉園した幼稚園、近隣小学校、民家・お寺の会館・仮園舎などであった。保育時間を変更した園は全体の12.9%あった。職員の勤務で、震災当時の困難が69.6%の園で発生し、ガソリン不足と公共交通機関の麻痺であった。現在は2.7%と減少し、放射能問題、悪条件の通勤路、車の二重ローンなどである。震災当事、保育活動の困難は36.1%の園であり、放射能・余震・停電の影響により保育活動が制限されたことであった。現在は16.7%で、放射能の影響で戸外活動が制限されていることである。給食提供では60.8%の園で問題があり、主な内容は食材確保であった。現在では18.5%で、食材の放射能汚染に対する対応であった。

今回の震災で日頃の避難訓練が生かせているかでは、5段階評価で4.27であった。避難用具の充足は5段階評価で3.25。施設外の避難場所への訓練を実施していた園は56.1%で、園外保育中の避難方法を考えていた園は52.0%であった。

震災後、避難場所・避難ルート・避難方法を再検討した園は、火災発生時では72.9%、地震発生時では83.3%、水害発生時では45.7%、であった。緊急地震速報の設置は29.5%の園でされおり、その内56.1%の園が震災前より設置していた。未設置園は65.9%で、設置予定がある園は19.4%であった。

災害を完全に防ぐことは不可能であるが、さまざまな対策を組み合わせ備えなければならない。わが国は自然的条件から地震、津波、台風、豪雨、豪雪、洪水、火山噴火などによる災害が発生しやすいが、今回は震災時の危機対応を中心に検討した。大災害が発生するとその後の72時間が極めて重要になるが、災害規模が大きくなればなるほど現場に近い地域に情報は届かない。この間、施設長は重要な判断を下す必要に迫られる。地震での被害の大小は地盤によることが多く、まず、園のある場所の地形・地盤を広い目でみる必要がある。洪水が想定される場所では、備蓄品は1階には置かず、園外の避難地域にも備蓄しておく必要があり、地域と協力して防災対策を考えていく必要がある。食事を1回抜くことは出来てもトイレを抜くことは出来ず、備蓄の三大要素は水、食料、トイレである。ライフラインが断絶し保護者の帰宅困難者が多数出ることを考えると、園児の安全確保とその情報を保護者へどう伝えていくか日頃より考えておくことが大事である。今回の震災で子ども達を安全に避難させたのは、職員の経験に基づくものが大きく、避難場所、ルート、方法など、その時の状況に合わせて臨機応変に対応することも大切であると感じた。全職員でのノウハウの共有・訓練が必要である。

キーワード:東日本大震災、帰宅困難、保護者への連絡、備蓄対策、避難訓練

はじめに

東日本大震災にて被災されました皆様には心よりお見 舞い申し上げる。

保育園では、今回の大震災が発生した14時46分は昼寝の時間帯であったので、園児を起こし身支度させ避難されたと思われる。津波が襲った地域の園では、機転をきかせた避難誘導などで、保育士の子どもを守るという意識の高さやにより、すべての保育園が園児を無事に保護者に引き渡すことができている。日頃の訓練の想定をはるかに超える災害であったと思われるが、保育園職員の災害に立ち向かう対応能力に敬意を表したい。

過去最大規模の地震被害となった東日本大震災は、私たちの自然災害に対する危機意識を大きく変化させた。被害を想定する想像力が足りなかったことを痛感させ、災害対策の「想定」を見直さざるを得ない出来事となった。

震源から遠く離れた首都圏では交通網が完全に麻痺し、公共の交通機関が運転を休止したため、主要駅には数十万人に及ぶ群集の滞留が発生し、徒歩で帰宅できない帰宅困難者であふれていた。千葉県や埼玉県などの内陸部でも地盤の液状化が発生し、家屋の損壊、ガスや水道など地下のインフラに被害が及んだ。

実際に災害が発生しないとどういう被害を受けるか予想を立て難いが、起こってから臨機応変に対応するといっても、果たして冷静に最善の対応が出来るだろうか。防災の基本は、「自助」と言われているが、災害の規模が大きければ大きいほど「共助」「公助」の手助けが開始されるまで時間を要するので、自助力を高めておく必要がある。

災害時に保育園が安全を確保しながら自助力で保育を 継続することは極めて重要な課題であり、東日本大震災 では多くの保育園が開所時間内に大震災を経験したこと から、今後はより現実的な災害対策に取り組んでいくと 思われる。

そこで本研究では、東日本大震災を経験された災害救助法適用の市町村所在の会員園や帰宅困難者の対応に苦慮された東京の会員園などを対象に、被害状況・保護者への連絡状況・お迎え困難児対策・保育状況・避難訓練や今後の対策などの内容によりアンケートを行うことで、保育園は園児の安全を守るために事前にどのような対策を立て、災害発生後にはどのような対応を行っていく必要があるかを明らかにし、保育園における防災計画を見直すときの参考となるものとしたい。

対象と方法

東日本大震災を経験された災害救助法適用市町村所在の日本保育協会会員園473施設及び、帰宅困難者の多かった東京都(島部を除く)所在の会員園741施設を対象とした。

対象支部と施設数は、青森県39園、岩手県73園、福島県69園、茨城県257園、栃木県25園、千葉県10園、東京都741園の計1,214園とした。

調査期間は平成23年10月1日から21日までとし、郵送による質問紙調査を実施した。

結果

I. フェイスシート

1)回答施設数

回答施設数は、青森県24園、岩手県48園、福島県49園、 茨城県131園、栃木県18園、千葉県3園、東京都区部167 園、市部225園の計665園で、回収率は54.8%であった。

2) 定員数

園の定員は、60名以下が56園(全体の8.4%)、60~99名が290園(43.6%)、100~119名が123園(18.5%)、120名以上が183園(27.5%)、不明が13園(2.0%)であった(表1)。

3) 震災時の在籍数

平成23年3月11日の震災時の在籍数は、60名以下が61園 (9.2%)、 $60\sim99$ 名が220園 (33.1%)、 $100\sim119$ 名が164園 (24.7%)、120名以上が179園 (26.9%)、不明が41園 (6.2%) であった (表2)。

4) 現在の在籍数

平成23年9月1日の在籍数は、60名以下が72園 (10.8%)、60~99名 が217園 (32.6%)、100~119名 が161園 (24.2%)、120名以上が193園 (29.0%)、不明が22園 (3.3%) であった (表3)。

5) 震災による園児の減少

平成23年4月1日以降、震災による園児数の減少があった施設は111園 (16.7%)、減少がない施設544園 (81.8%)、不明10園 (1.5%)であった。減少があった園は、青森県2園、岩手県11園、福島県25園、茨城県17園、栃木県3園、東京都区部32園、東京都市部の21園であった(表4)。

園児の減少数は、 $0 \sim 9$ 名が90園、 $10 \sim 19$ 名が10園、 $20 \sim 29$ 名が2園、40名 ~ 49 名が2園、110名以上が1園 であった (表 5)。

6) 開閉所時間

施設の開所時間は、 $6:30\sim6:59$ の間が 7 園 (1.1%)、 $7:00\sim7:29$ が550園 (82.7%)、 $7:30\sim7:59$ が99園 (14.8%)、8:00以降が 3 園 (0.5%)、不明が 6 園 (0.9%) であった (表6)。

施設の閉所時間は、17:00~18:30の間が69園(10.4%)、18:31~19:00が328園(49.3%)、19:01~20:00が193園(29.0%)、20:01以降が65園(9.8%)で、不明が10園(1.5%)であった(表7)。

7) 実施保育事業

実施している保育事業は、零歳児保育が592園 (89.0%)、延長保育が627園 (94.3%)、一時保育が334園 (50.2%)、休日保育が51園 (7.7%)、病児・病後児保育が65園 (9.8%)、不明が10園 (1.5%) であった (表8)。

8) 震災発生時の施設長の所在

震災発生時の施設長の所在は、在園していたが496園 (74.6%)、出張中が161園 (24.2%)、不明が8園 (1.2%) であった (表9)。

出張理由は、園長会や研修会に出席、卒園式後の謝恩 会、入園説明会、遠足の引率などであった。

9) 震災発生時の園児以外の利用児

震災発生時、在園児以外の子どもがいた園は167園(25.1%)、在園児のみは487園(73.2%)、不明が11園(1.7%)であった(表10)。

在園児以外の子どもがいた167園の内訳は、一時保育

利用児が134園、地域子育て拠点事業利用児が17園、園 見学児が7園、その他が26園などであった(表11)。

その他では、入園児説明会の参加児が多く、学童保育利用児、病後児保育児などであった。

10) 園児の避難待機場所

震災発生後、園児が避難待機をした場所は、園敷地内が553園(83.2%)、園敷地外に避難が105園(15.8%)、不明が10園(1.5%)であった。

園敷地外に避難した園は、東京都市部では10.2%、東京都区部は13.2%、茨城県16.8%、青森県17.7%で、福島県24.5%、岩手県33.3%、栃木県33.3%であった(表12)。

園敷地外の主な避難場所は、小・中・高等学校、老人施設、高台、堤防、隣接の空き地や広場、駐車場、公園、グラウンド、畑、消防署、コミュニティーセンターなどであった。園外保育に出ていた保育園は、近くの商業施設や警察署に避難していた。

園敷地外に避難した105園は、事前に避難場所と決めていた場所に避難した園が75園(71.4%)、決めていなかった場所に避難が20園(19.0%)などであった。福島県と茨城県の園は、他県に比べ事前に避難場所と決めていなかった場所への避難を行っていた(表13)。

11) 園舎(建物)の被害

園舎(建物)の被害は、被害ありが234園(35.2%)、被害無しが428園(64.4%)、不明が3園(0.5%)であった。

園舎の被害が多かった県は、茨城県87園 (66.4%)、福島県31園 (63.3%)、千葉の2園 (66.7%) などであった (表14)。

被害は、壁などに亀裂が133園(20.0%)で、その他が71園(10.7%)であった。壁などの亀裂は東京都区部の園で多く、壁の亀裂以外の被害は岩手県、青森県の園で多くあった(表15)。

その他は、全壊、大規模半壊、建物一部沈下、地盤沈下で傾く、津波により流失、ヘドロ侵入、乳児室及びほ ふく室の浸水、津波により浄化槽破損、床下浸水、水道管破裂、地盤沈下、液状化により土台に亀裂が入り園舎が傾く、駐車場の液状化、浄化槽が陥没、ボイラー室の循環パイプの破損、床が反り防火扉が閉まらない、鉄扉の鍵が曲がり非常口の戸が開かない、床に1~3mmくらいの隙間、サッシ戸の変形、雨樋の破損、排水管の破損、ガスの室内配管に緩み、沐浴室の雨漏り、天井壁の落下、破裂壁の落下、屋根瓦、浄化槽内ポンプ破損、流入枠落下、水道管亀裂、ホールの柱に亀裂、壁紙に亀裂、プールに亀裂、門の周辺コンクリートに亀裂、避難階段に亀裂、ブロック塀に亀裂、サッシガラス戸に亀裂、天窓に亀裂などであった。

12) 破損物や転倒・落下物

壊れた物や転倒・落下した物があった園は232園 (34.9%)、なかった園は423園 (63.6%)、不明が10園 (1.5%)

であった。

被害が多かった県は、茨城県では71%、岩手県68.8%、 千葉県66.7%、福島県の57.1%などであった(表16)。

具体的には、絵本、紙芝居、紙芝居ケース、玩具、ぬ いぐるみ、押入れの中の物が出てしまう、園児用テーブ ル、ロッカー、下駄箱、タンス、地球儀、壁掛け時計、 楽器、ハモンドオルガン、ピアノ、花瓶、観葉植物、植 木鉢、金魚の水槽、水槽の水、ホール舞台の上のスピー カー、取り付けの扇風機、扇風機の羽根、エアコン、エ アコンカバー、エアコンダクトロ、天井ボード、天井の 断熱交換機、空調機カバー、加湿器、空気清浄機、冷暖 房室外機、ボイラーの配管、浄化槽の配管、非常口パネル、 トイレの壁面タイル、窓ガラス、額に入った絵画、照明 器具、トイレットペーパーの落下、厨房のガス、給湯器、 食器類、食器消毒保管庫、冷蔵庫、電子レンジ、トース ター、食品サンプル台、空調フード、放送設備、テレビ、 ビデオデッキ、8ミリビデオカセット、金庫、コピー機、 PC、プリンター、キャビネット、本棚、書類、薬品戸棚、 コーヒーメーカー、ホワイトボード、シュレッター、ス トーブ、ガラスコップ、タイムレコーダー、仏様、台座、 屋根瓦、門扉、隣接住宅からの落下物などであった。

13) 園庭の被害

園庭に被害があった園は、81園(12.2%)で、被害がなかった園は569園(85.6%)、不明が15園(1.5%)であった。

被害が多かった県は、岩手県の35.4%、青森県25.0%、 福島県22.4%、 茨城県の22.1% などであった (表17)。

被害があった園81園は、亀裂が53園、液状化が13園、 その他が21園で、地盤沈下、固定遊具に亀裂やズレ、ヘ ドロ・ガレキの堆積、水道管破裂、コンクリートやアス ファルト部分の隆起、崩壊した擁壁・瓦・ブロック塀・ レンガ・タイルの散乱などであり、液状化は茨城県の園 が他県より多く発生していた(表18)。

14) 津波の被害

津波による被害を受けた園は18園 (2.7%) であった (表19)。

その内訳は、津波が近くまで来た園は、岩手県が4園、福島県が2園、青森県1園、茨城県1園の計8園。一部襲われた園は岩手県が3園、青森県が1園の計4園。倒壊した園は青森県1園、岩手県1園の計2園などであった(表20)。

15) 震災による負傷状況

震災によって負傷者がでた園は6園(0.9%)であった(表21)。

園児が1名負傷した園は3園、6名負傷した園は1園 (表22)。

職員が1人負傷した園は2園、3名負傷が1園であった(表23)。

園児はガラスの破片で足裏裂傷する怪我で、職員は足骨折、打撲、擦過傷などであった。

16) ライフラインの被害状況

(1)電気

停電があった園は292園 (43.9%)、なかった園は367 園 (55.2%)、不明が6園 (0.9%) であった。

青森県と岩手県では全園で停電があり、栃木県では 88.9%、茨城県79.4%、東京都市部35.6%、福島県の 30.6%、千葉県1園(33.3%)などであった(表24)。

停電があった292園では、震災による停電が189園 (64.7%)で、計画停電は97園(33.2%)であった(表 25)。

青森県と岩手県ではほとんどの園で震災による停電があり、東京都市部では停電があった園は計画停電であった。栃木県の園では震災による停電と計画停電とが半数ずつであった。

停電した期間は、震災による停電の189園では5日以下が162園(85.7%)、5~9日が19園(10.1%)、10~14日が2園(1.1%)、15~19日が1園(0.5%)、25~29日が1園(0.5%)、30~35日が2園(1.1%)、40日以上が1園(0.5%)などであった(表26)。

計画停電をした97園では、10日以下が69園 (71.1%)、10~19日が13園 (13.4%)、20~29日が1園 (1.0%)、30~39日が3園 (3.1%)、90日以上が1園 (1.0%) などであった (表27)。

停電で困ったことは、固定電話および携帯電話が不通 で保護者との連絡が取れなかった。パソコンやテレビ等 の情報収集の機能が失われたこと。パソコンから災害情 報の確認やメールができなかった。園内放送ができなか った。防災無線、携帯の中継のアンテナの非常用電源が なくなり、連絡手段がなくなった。オール電化施設で機 能しなかった。懐中電灯やランタンだけでは子ども達の 不安を和らげるだけの灯りにはならなかった。延長保育 時の暖房や照明、園児が寒がり怖がった。ガソリン不足、 灯油不足が重なり、寒いのに暖房・床暖房・ストーブ・ エアコンが使用できなかった。手洗いの水が井戸水で、 ポンプが作動せずに使用できなかった。地下水の地域は、 ポンプの水揚げができなかった。水道がタンク式だった ため停電のときは水道が止まってしまう。トイレが使用 できなかった。電子鍵がかけられない。パソコンでの業 務ができず、日誌等の入力ができなかった。ミルクが作 れなかった。食材確保で、生鮮食料は入手困難だった。 冷凍冷蔵庫の食材が使用できなくなった。冷凍冷蔵庫、 電気調理器具、食器洗浄機、食器消毒保管庫などの使用 ができなかった。給食を時間どおりに作れず、昼食時間 をずらした。計画停電の準備をその都度行った。計画停 電が実施されるか、直前にならないとわからない。準備 をしたくても、電池や懐中電灯が売り切れだった。電車 不通のため、職員の確認 (勤務体制の変更)。園再開に 向けての復旧作業がはかどらない。園舎の清掃に電気器 具が使用できないなどであった。

②水道

断水があった園は175園(26.3%)、なかった園は482園(73.4%)、不明が8園(1.2%)であった。

断水が多かった県は、茨城県の81.7%、岩手県58.3%、 福島県の55.1%などであった(表28)。

断水した期間は、5日以下が64園 (36.6%)、5~9日が51園 (29.1%)、 $10\sim15$ 日が18園 (10.3%)、 $15\sim19$ 日が6園 (3.4%)、 $20\sim25$ 日が6園 (3.4%)、 $30\sim34$ 日間が8園 (4.5%)、 $35\sim39$ 日が福島県の1園 (0.6%)、60日以上が岩手県の1園であった (表29)。

断水で困ったことは、トイレの排水と飲料水が多く、 手洗い・うがい・調理や調乳・沐浴・掃除・洗濯などで あった。井戸水へ切り替えたが、水質検査に時間がかか った。給水タンクを設置してもらった。電気も止まると 水も来なくなる地域なので困った。通水再開後も「にご り」が消えず、給食再開に支障をきたした。放射能汚染 による飲料水の確保と情報の錯綜などであった。

③ガス

ガスが停止した園は62園 (9.3%)、停止はなかった園は587園 (88.3%)、不明が16園 (2.4%) であった。

停止が多かった県は、岩手県の25.0%、茨城県の15.3 %などであった (表30)。

停止した期間は、10日以下が34園、10~19日が3園、20~29日が2園、60日以上が岩手県の1園であった(表31)。

ガスが停止して困ったことは、ガスメーターの復旧方法がわからなかった。安全確認が取れるまでは使用をやめた。自動停止で解除したが、ガスの配管を亀裂やヒビがないかを水をかけながら確認したので時間がかかった。業者依頼が立て込んでいて、安全確認や修理に時間がかかった。プロパンガスなので、次いつ入荷するかわからないと言われたので使えなかった。給食が提供できなかった。安全制御装置が作動したため使用を控えた。電車が止まり帰宅難民となった保護者を待つ子ども達に夕食を提供するのに支障が出た。電気対応のスチームコンベクションを使用し、白飯を炊いておにぎりを作り、非常食味噌汁を合わせて提供した。余震が起こる度にガスの元栓が止まり、食事が作れなかったので、炊飯器でご飯を炊いておにぎりで対応した。床暖房がつかず寒かったなどであった。

Ⅱ.保護者への連絡

1) 地震発生時の保護者への連絡

地震発生時、保護者への連絡がスムーズに行えたかでは、すぐに行えたが56園 (8.4%)、行えたが79園 (11.9%)、どちらともいえないが130園 (19.5%)、苦労したが189園 (28.4%)、大変苦労したが151園 (22.7%)、不明が61園 (9.2%) であった。

すぐに行えたを5とし、大変苦労したを1とした場合

の5段階評価の平均値は2.50であった(表32)。

2) 保護者連絡の困難の有無

保護者への連絡で困ったことや苦労したことがあった 園は491園 (73.8%) で、なかった園は127園 (19.1%) で、不明は47園 (7.1%) であった (表33)。

苦労したことは、多くの園で固定電話や携帯電話の不 通、混線して繋がりにくいことであった。

停電になると電話もパソコンも使用不可。停電によりデスクトップPCからメールが送信できなかった。一斉配信メールの着信に時間差があった。メール連絡網を利用したが、メールが届いたか確認が十分に取れなかった。SECOM安否確認メールが機能しなかった。災害用伝言ダイヤルは東京を被災地外とされたため利用できなかった。園児たちの安否通知や避難場所の伝達ができなかった。お迎えの時間が何時になるか個別の連絡が取りづらかった。代理人のお迎えに情報が保護者と違い、携帯が繋がらないため情報整理するのに苦労した。園バス利用児の対応で、運行経路や到着時間の変更など保護者への連絡手段がなく、長時間待たせてしまった。一時保育児の保護者への連絡が大変だった。連絡手段は徒歩、避難所をすべて徒歩か自転車で回り確認。園の保育再開の連絡などであった。

3) 震災発生時の連絡方法

震災発生時に保護者へ連絡した方法は、固定電話が370園(55.6%)、携帯電話323園(48.6%)、公衆電話9園(1.4%)、パソコンからのメール118園(17.7%)、携帯からのメール89園(13.4%)、ホームページへの記載37園(5.6%)、その他100園(15%)、不明57園(8.6%)であった(表34)。

その他では、災害用伝言ダイヤル、災害伝言板(i モードなど)、災害優先電話、IP電話、無電源の電話機、メール一斉発信システム、メール連絡網、セコムの安否 確認サービス、パスメール、ツイッター、ブログ、栃木 テレビにファックスで依頼しテレビ放映、ローカルラジ オに依頼、地域のFM伝言板、市の緊急放送、無線、各 家庭を回る、園の玄関に貼紙で掲示、スーパー・集会場・ 各公共施設に連絡を掲示、ポスターや口コミ、避難所へ の伝言や書置き、園から連絡をせずお迎えを待つ、保護 者からの連絡を待つのみなどであった。

4) 災害発生時に使用したい連絡方法

災害発生時に今後使用したいと思う保護者への連絡方法は、固定電話が209園 (31.4%)、携帯電話200園 (30.1%)、公衆電話16園 (2.4%)、パソコンからのメール345園 (51.9%)、携帯からのメール277園 (41.7%)、ホームページへの記載187園 (28.1%)、その他88園 (13.2%)、不明54園 (8.1%) であった (表35)。

その他では、メールも繋がらないことがわかったので、 園児を無事避難させて保護者のお迎えを連絡なしで待 つことにした。NTT災害用伝言ダイヤル、災害伝言板、 災害時優先電話、IP電話、メール一斉配信システム、J -POST (インターネット掲示板)、QRコード、SNS、Web171、スカイプ、ツイッター、フェイスブック、ブログ、ボイスボックス、まちCOMI、ローカルラジオによる園情報、市の緊急放送、市のホームページ、各公共施設への貼紙などであった。

Ⅲ. お迎え困難児対応

1) 保育時間の延長

震災当日、閉園時間を過ぎてもお迎えに間に合わない 園児の保育を行った園は466園 (70.1%) で、通常の保 育時間内で終了できた園は175園 (26.3%)、不明が24園 (3.6%) であった。

時間延長した園は、東京都区部96.4%、市部72%、茨城県58.0%、福島県51.0%、栃木県50.0%、青森県45.8%、岩手県42.8%、千葉県33.3%であった(表36)。

閉園時間後も保育を行った466園の園児数は、10名以下が251園(53.9%)、10~19名が68園(14.6%)、20~29名が26園(5.6%)、30~39名が10園(2.1%)、40~49名が2園(0.4%)、60名以上が2園(0.4%)などであった。

時間延長した466園のうち、東京都区部では10名以上 の割合が他県に比べて多く、他県より多くの人数の園児 の保育が実施されていた。

最終のお迎え時間は19時が36園 (7.7%)、20時が68園 (14.6%)、21時が69園 (14.8%)、22時が48園 (10.3%)、23時が58園 (12.4%)、0時が29園 (6.2%)、1時が20園 (4.3%)、2時が20園 (4.3%)、3時が14園 (3.0%)、4時が10園 (2.1%)、5時が6園 (1.3%)、6時が3園 (0.5%)、7時が15園 (3.2%)、それ以降は58園 (12.4%)で、最終は3月14日の14時のお迎えであった。東京都区部と市部の園では夜通し園児の引渡しが行われていた (表38)。

2) 備蓄食料

保護者がお迎えに来るまでの食べ物の備蓄は、非常に十分あったを5とし、十分にあったを4、どちらともいえないを3、不足したを2、大いに不足したを1とした場合、5段階評価の平均値は4.04であった(表39)。

幼児食は、5段階評価の平均値では3.72であり、離乳 食は3.58、ミルクは3.88、アレルギー食は3.41、飲料水 は3.67であった。(表40・41・42・43・44)

3) 照明や暖房器具

保護者がお迎えに来るまで、明かりや暖をとるための備品類の備えは、非常に十分あった111園(16.7%)、十分にあった280園(42.1%)、どちらともいえない132園(19.8%)、不足した94園(14.1%)、大いに不足した21園(3.2%)、不明が28園(4.2%)であった。

非常に十分あったを5とし、大いに不足したを1とした場合の5段階評価の平均値は3.57であった。青森県が2.54、岩手県が2.58と不足を感じた園が他県より高かっ

た (表45)。

4)トイレ対策

汚水・下水が流せなくなることを想定して、衛生面に 配慮したトイレ対策を講じている園は、232園 (34.9%)、 いない園400園 (60.2%)、不明33園 (5%) であった。

トイレ対策は、災害が大きかった県では20%前後であったが、東京都区部の42.5%、市部46.7%では対策を行っている園が多かった(表46)。

対策をしている園では、ポータブルトイレ、簡易トイレ (組み立て式)、非常対策用トイレ、マンホール対応型トイレ、仮設トイレ、エコトイレ、ポケットトイレ、トイレシート、ペットシート、尿パット、汚物処理セット、テントなどを購入し備蓄していた。水は、プールや雨水タンク・ポリタンクに水を溜めておく、期限切れの水が取ってある。水が出るうちに園内全てのバケツ・ベビーバスなどに水を汲んでおいた。井戸水、川から水を運んで使用、ペットボトルに水を入れておき流すなどであった。

5) 備蓄品

お迎えが来るまでの備蓄品は、非常に十分だったが130園 (19.5%)、十分だったが318園 (47.8%)、どちらともいえないが130園 (19.5%)、少し不足したが36園 (5.4%)、大いに不足したが15園 (2.3%)、不明が36園 (5.4%)であった。

非常に十分あったを5とし、大いに不足したを1とした場合の5段階評価の平均値は3.81であった(表47)。

6) 備蓄の不足品

備蓄品で不足品があったと感じた園は298園 (44.8%) で、不足品がなかった園は286園 (43.0%) で、不明が81園 (12.2%) であった。

不足を多く感じた県は、岩手県の62.5%、福島県の53.1%であった(表48)。

不足品と感じたものは、水、離乳食の非常食、粉ミル ク、スティックミルク、アレルギー児食、アレルギー用 ミルク、おやつ、乾菓子、おかゆ、ご飯類の非常食、温 かい飲み物、鍋、紙皿、ラップ、保温ボード、ガソリン、 灯油、発電機、ろうそく、薪、ガスコンロ、カセットコ ンロ、ガスボンベ、バッテリー、照明器具、懐中電灯、 乾電池、LEDライト、ランタン、ガスストーブ、石油ス トーブ、反射式ストーブ、テレビ、ラジオ、サーチライ ト、無線機、簡易トイレ、トイレ流し用の水、ティッシ ュペーパー、トイレットペーパー、テント、ビニールシ ート、毛布 (大人用・子ども用)、大人用布団、オムツ、 おんぶ紐、防災頭巾、簡易カイロ、手袋、マスク、タオ ル、洋服、下着、防寒用靴下、生理用品、消毒液、アル ミブランケット、防寒グッズ、ヒートシート、薬品、担 架、物質的なものではないが地域との関係・精神的なも のが沢山もてるように努力したい。避難先で過ごし、園 の備蓄品は運び出せなかったなどであった。

7) 備蓄基準

備蓄品の備蓄基準があった園は134園(20.2%)で、なかった園は495園(74.4%)、不明は36園(5.4%)であった。

備蓄の基準があった園は、東京都区部31.1%、市部28.4%で、茨城県3.8%、青森県4.2%、岩手県6.2%、福島県16.3%と被害が大きかった県の方が基準があった園は少なかった(表49)。

備蓄基準があった園の備蓄基準の指示は、法人や園独自のものが多く、どこの基準を参考にしたかは不明。3日分の飲料水と食料、市発行の防災マップを参考、都の防災計画を参考、公立園と同じ、市や区より示されている、消防署、阪神大震災からのチェックリストなどであった。

8) 備蓄基準の必要性

備蓄品の基準は必要と思うかでは、大いに必要が74園(11.1%)、必要は325園(48.9%)、どちらともいえないが165園(24.8%)、あまり必要でないが33園(5.0%)、必要なしが32園(4.8%)、不明が36園(5.4%)であった。

大いに必要を5とし、必要なしを1とした場合の5段 階評価の平均値は3.60で、岩手県の園が基準の必要性を 一番感じていた(表50)。

9) 今後の備蓄対策

今後の備蓄対策で必要と感じた事や物がある園は464 園 (69.8%) で、ない園が119園 (17.9%) で、不明が 82園 (12.3%) であり、福島県の園が備蓄品の必要性を 一番感じていた (表51)。

必要と感じた事や物は、すぐに全ての保護者が来たの で今回は困らなかったが、水や食料、ミルク類は数日分 くらいあった方が良い。東京は今回大丈夫だったが、東 京に直下型の地震が来ていたら全て不足する。乳児の離 乳食に対する水やミルク用の水が特に必要。粉ミルク、 米など保存のきく食材を常時一定量確保しながらの発注 を行う。乾パンしかなく、時間が長引いた場合はお米が 必要と感じた。備蓄食品は50食用は使いづらく、小分け のものが使いやすかった。子ども達が食べやすいものが 必要。そのまま食べられる長期保存菓子や食品。離乳食 用レトルト食品、幼児食用レトルト食品、缶詰のパン、 使い捨て食器、乾麺やカップ麺などのすぐ食べられるも の。いろいろなもの(食品)より、全員分のすぐ食べら れるおかゆ等がいる。お腹にたまるアルファ米、ふりか け、のり。アレルギー児食の備蓄。水を使用せずに食べ られるものを多めにする。備蓄品には湯で対応するもの が多いので、お湯を沸かす方法。電気、ガスが止まった 時のミルク用お湯を沸かすカセットコンロ。カセットコ ンロでは十分ではないので、火を使って大量に簡単に調 理できるような方法。最低3日分の食料、しかし今回の ように流されてしまう場合があり、避難先に備蓄してお くことも必要。流失、全壊すると、備蓄品あったとして

も運べない、子ども達を避難させるだけで精一杯だった。 ここが問題である。津波対策に1階のみでなく各階毎に 食料品、衣料品の備蓄を分散し用意した。建物が壊れて も備蓄品が取れるような所にまとめて置く。リヤカー、 自転車。保管場所を明記し、とりやすいところに置くな ど設備の見直しが必要。備蓄倉庫内に保存できる量が限 られているので、もう入れることができないので、建ペ い率にこだわらず支障が出なければ倉庫などを置く基準 を少し緩めて欲しい。備蓄品は地域自治会と相互協力を 図り分散管理が必要(園内に備蓄スペースが取れないこ とと自治会との連携強化のため) 備蓄品基準リスト。備 品類の使用マニュアル。備蓄品目の行政との連携。テレ ビ等の報道で、体を包んだりして暖かいアルミ防寒(防 水)シート。ダンボール。雨をしのぐテント、下に敷く シート、雨合羽類、いつ起こるか分からないので、季節 に対応できるもの。寒さに困らないよう、毛布やタオル、 カイロ、石油ストーブ、対流型ストーブなどの暖をとる 備品。職員用の寝具。トイレが使用不可の場合、紙オムツ、 お尻拭きのストック、簡易トイレ。トイレットペーパー の備蓄。ノンアルコールのウエットティッシュ。地震が 着たら直ぐに容器に水の確保が必要。ヘルメットや防災 頭巾。幼児がホールで昼寝をしているので、ホール用の 防災頭巾も必要。防災ヘルメット、戸外避難用の備品整 備。担架。懐中電灯しかなかったので、広範囲に照らせ るカンテラ・ランタン等購入予定。消防団や役場の方が 今回は情報をくれたが、情報を得るためのラジオ。手動 式ラジオ、トランシーバー、メール送信用の携帯電話、 ポータブルテレビ、ワンセグテレビ、無線機、衛星電 話。電力一本に頼らないこと、GHP (ガスヒートポンプ) の併用や石油による床暖房。自家発電機、ガソリン、手 動発電機 (照明具)、サーチライト、ライター、コンロ、 やかん、ガスボンベ、大型バッテリー。電池類の不足は いつまでも続いた為、多めに備蓄する必要を感じたなど であった。

Ⅳ. 保育

1) 保育再開日

休園せず保育を行った園は455園(68.4%)で、13日から再開した園は3園、14日が65園、15日が19園、16日が24園、17~20日が18園、21~26日が38園、28~31日が13園、4月1日~30日が8園、5月1日が1園、6月1日が1園、10月11日からが1園であった。

被害が大きかった岩手県では休園せずに12日から保育を行った園は25%、福島県は38.8%の園で行われていた (表52)。

2) 保育再開場所

保育の再開は震災前と変わらない場所で実施が636園 (95.6%) で、他の場所で実施が15園 (2.3%)、不明が14園 (2.1%) で、岩手県の5園、茨城県の5園、栃木

県の1園は場所を変更しての再開だった(表53)。

他の場所で再開した園は、建物の被害が少なかった姉妹園や系列園、行政が準備した建物、国民宿舎、閉園した幼稚園、隣の小学校、民家・お寺の会館・仮園舎などであった。

3) 保育時間

保育時間は変更せず実施した園は565園 (85%)、変更 した園は86園 (12.9%)、不明が14園 (2.1%) で、被災 した県の中でも岩手県は時間を変更しなくてはならない 園が多かった (表54)。

変更した園は、 $0 \sim 4$ 日間が16園、 $5 \sim 9$ 日間が13園、 $10 \sim 14$ 日間が7 園、 $15 \sim 19$ 日間が2 園、 $20 \sim 24$ 日間が3 園、30 日間以上が3 園などであった(表55)。

4) 職員の勤務

職員が勤務するにあたり、震災当時困ったことがあった園は463園 (69.6%) で、なかった園が184園 (27.7%)、不明が18園 (2.7%) であった (表56)。

震災から半年経過した時点では、困ったことがある園は18園(2.7%)で、ない園が614園(92.3%)、不明が18園(2.7%)であった。岩手県の6園、福島県の3園が現在も困難を抱えている(表57)。

職員勤務で困った主な内容は、震災当時で多かったのが、ガソリン不足と公共交通機関の麻痺であった。

ガソリン不足で、車通勤の職員が通勤困難となり、同 じ地域の職員が乗り合わせて出勤。ガソリンが不足し、 並んで給油してもらった。ガソリンがないため、園でタ クシーを1週間チャーターし出勤してもらった。通勤が 車からバスになった。道路が通れず出勤できなかったり、 時間がかかった。停電のため、信号機が動かず危険で、 通勤・帰宅にかなりの時間を要した。計画停電で信号、 外灯が消え危険であった。家が流されて避難生活、乗用 車が流されたので送迎つき。家が被災してしまい、勤務 できる状況ではない職員が多数いた。原発問題で避難し、 出勤できない職員がいた。早番のシフトは職場に近い職 員に変更した。遠路の調理員をホテルに宿泊させ、翌朝 の仕事に備えた。震災当日公共の乗り物がストップ状態 で帰宅が困難だった。園に泊まってもらった。研修先か ら電車が止まり帰れなくなった。計画停電による電車の 運休で、職員の確保が非常に難しかった。2~3日停電 のため電車が動かず、出勤が大変だった。本数限定のた め、時間が大幅にかかったり、満員で電車に乗れず通勤 が困難だった。電車の時間が定まらず、1時間以上かけ て徒歩通勤をした。交通手段が断たれた時ローテーショ ンが組めなく、近くの職員に負担をかけた。子育て中の 職員を帰宅させてあげたい、しかし在園する子どもの安 全も考えなくてはならない、子どものいる職員への配慮。 他園に預けていたり、小学生を持つ子育て中の保育士を いつ帰すか。職員の子どもの園が避難地域のため預けら れず出勤できなかった。電車が止まり園に泊まる時の寝 具。宿泊した職員や1時間以上かけて自転車で通勤して

もった。被災地の職員は3月中自宅待機に。道路が復旧するまで短時間勤務。連絡のつけようがなく、トイレ使用不可、食料・飲料がない状況だった。避難した職員がいたため、地元に残っていた保育士で保育を行ったなどであった。

震災から半年経過した時点では、家が流され仮設から 出勤、心も体も休まらない。橋が落ち迂回しなくてはな らないため、通勤距離が遠くなった。車の二重ローンを 抱える職員が多い。地盤沈下のため、道路に海水、土砂 崩れのため片側通行。道路が狭いので、土地勘のない人 は間違いやすい。夜道が暗い。放射能問題、道路の整備 などであった。

5) 保育活動

震災当事、保育活動で制限されたことや困ったこと があった園は396園(36.1%)で、なかった園は240園 (36.1%)、不明が29園(4.4%)であった(表58)。

震災から半年経過した時点では、保育活動で制限されたことや困ったことがある園は111園(16.7%)で、ない園は521園(78.3%)、不明が33園(5.0%)で、福島県の30園(61.2%)、岩手県の11園(22.9%)が震災から半年経過した時点でも困難を抱えて保育を行っている(表59)。

保育活動で困った主な内容は、放射能・余震・停電の 影響により保育活動が制限されたことであった。

緊急避難準備区域になり、保育園は休園となった。ラ イフラインが復旧するまで園児を預かることができなか った。家庭保育をお願いできない家庭は近くの保育園に お願いし、合同保育をした。下水道の使用ができないた め、排泄物の処理に困った。仮設トイレが低年齢児には 大変使いづらく、個数も2台と少ないので、職員がトイ レにかかりっきりで腰を痛めてしまうほどだった。水が 使用できなくなり、毎日運ぶのが大変だった。仮設のた め狭く、十分に遊ばせるスペースが限られる。石油スト ーブを借用して暖をとったが、狭い部屋で倒れないよう 配慮したため、子ども達の遊びが制限された。周りの瓦 礫や悪臭で園庭に出られなかった。災害放送がまったく 聞こえなかった。市の対応が全くなく、防災無線も入ら ず情報がなかった。復旧が遅れて外遊びができない。窓 も開けられず換気もできないので、喉や鼻を悪くする児 童が多くいた。外へも出られず、窓を開けられず、夏期 は困難だった。雨の後や風の強い日は外遊びを制限。風 のある日は方向により窓を閉めて外遊びをやめた。プー ル遊び、砂遊び、泥遊びの中止。原発の放射能汚染を考 慮して園外保育をおこなわなかった。戸外での行動を1 日あたりおおむね1時間程度とした。洗濯物を室内に干 した。停電や断水で数日間保育を再開できなかった。余 震が続いたので笑えなかった。絵本や紙芝居、遊戯遊び は震災当日20時からようやく平常心が戻ってきてから行 えた。地震速報が何度もなるので、子どもも職員も不安 になりがちであった。延長保育や休日保育はしばらく行 わなかった。戸外で余震があったときのリスクを考え、 しばらくの間散歩は控えた。散歩先の制限をし、すぐに 迎えに行ける距離とした。地震時に対応できる部屋で昼 寝をした。昼寝の際にはパジャマに着替えなかった。何 度となく強い余震があり、恐怖感で集中した活動ができ なかった。駐車場からクラスの所まで地割れをしている ので通行できず、職員玄関より出入りをした。次の日が 卒園式だったが、防災頭巾やヘルメットを椅子の下にお いて行った。卒園式の日程・内容変更。遠足の中止。行 事の変更。物が落下するような場所では保育できなかっ た。1階で集団保育を行った。外に出やすいクラスを使 用し合同保育を行った。停電の為暖房機不足により、家 庭保育が可能な場合は家庭で保育をしてもらった。計画 停電で夕方停電になり電灯を集めて保育した。薄暗い中 での保育となった。換気扇やエアコンが使えなかったな どであった。

震災から半年過ぎた時点でも、保育活動の制限や困ったことがある園は、放射能の影響で外遊びが制限されている園であった。

0.2マイクロシーベルトの園庭なので、まだ保育室だ けの保育。園庭の表土を改良したが、遊具の線量が下が らないので、未だ外遊びができない。園児の足腰が弱く なっている。散歩もできず歩く力が弱まっている。外遊 びなし、放射能が怖い為。完全に園庭が復旧していない。 強風、雨上がりで地面が濡れている時の散歩や戸外遊び の場所や時間の制限。表土削りや土の入れ替えが終了し たにも関わらず、屋外遊びが制限されている。プール遊 びの期間、泥遊びの中止など。戸外での裸足の制限。砂 に触れないように遊ぶ。土手への散歩、砂場使用は控え ている。乳児は雨の日の翌日は戸外遊びをできない。園 庭にできた水溜り、落ち葉に注意している。毎朝都のホ ームページを見て判断し、放射能の多い日は外遊びを控 えている。自家菜園の野菜は給食で使用できない。食材 の産地表示を市が義務付けにしたこと、いつまで行うの か。水道水を沸かしたお茶も駄目な家庭があり、水筒に 家庭からお茶を入れて持参している園児がいる。不明確 な原発情報により保護者の不安、混乱がある。大規模半 壊となった園舎は使用不可な場所がある。エアコンの利 用制限。持ち物などの依頼で、どこまで震災前と同じよ うに対応すればよいのか。2階から1階の保育室に変更 している。近くの公園に出るのに、性能の良い無線など で連絡方法を確立することが必要。半径500m以内に活 動を制限している。散歩場所は遠出は控えている。遠足 場所の選定。室内は素足の生活であったが、震災後は常 に靴を履くようにしているなどであった。

6)給食提供

給食提供で、震災当時困ったことがあった園は404園 (60.8%) で、なかった園が235園 (35.3%)、不明26園 (3.9%) であった (表60)。

震災から半年経過した時点では、給食提供で困ってい

る園は123園(18.5%)で、いない園が511園(76.8%)、 不明が31園(4.7%)で、福島県の26園(53.1%)、茨城 県の21園(16.0%)が問題を抱えながら給食を提供して いる(表61)。

給食提供で困った主な内容は、食材の確保であった。

1日も休みにしないで開設したので、食材がない、お 米がない、おかずは作れない、当然おやつ準備もできな い。取引業者が被災したため、配達困難で、職員が食材 確保にスーパーを歩いて回った。給食食材取引先が流さ れて食材が手に入らなかった。業者の方もガソリン不足 で、栄養士が出向いて材料確保した。園にあった在庫の 食料と、少しずつ買出しに行って給食を提供した。お米、 水、牛乳、卵、パン、ヨーグルト、もやし、野菜などが 入らず献立変更した。買占めや流通の障害の関係で不足 した。三陸方面から入荷するわかめ、練り製品、さんま、 粉ミルク、納豆、ハム、ウインナー。魚の値段が上がり、 入荷しない魚もあった。乾物や缶詰を多く使った。アレ ルギー児食が大変だった。水の確保が難しく、無洗米を 用意した。断水のため水が使用できず、町から給水タン クで水をもらった。飲料水の確保ができないため、弁当 持参とした。金町浄水場の水に放射線ヨウ素検出との連 絡あり、ペットボトルの水で対応。食材の原産地を調べ て保護者に表示、安全性の手引きを配布したりなどで内 部被曝の件の対応が大変だった。放射能の影響で、ほう れん草や葉物野菜の自粛。セシウムが検出された情報が 流れると、その産地のものは避けるようにしているため、 食材が手に入らなかった。保護者からの原発関係の心配 の質問に対応するために忙殺した。ライフライン停止に より給食を提供できなかった。生ゴミの回収が不能にな ったため、給食の提供ができなくなった。ユニセフ等に より物質、食材が届けられたが、給食器材の破損のため、 給食が提供できなかった。給食室へ津波によるヘドロの 浸水、消毒、消毒後衛生状態を確認するまで簡易なもの を提供した。地震で食器消毒器が破損、何日か弁当持参 とした。給食設備の復旧に時間がかかった。給油設備が 壊れたためお湯が出ず、食器を洗うことができなかった。 オール電化のため停電に苦労。ガス・電気が使えず、弁 当持参してもらった。ガスは通っていたが停電による冷 蔵庫等が使用不能となり衛生面も不安だった。計画停電 が予定されていた時は給食担当職員は全員早朝出勤し、 給食の準備をした。計画停電では、日別で対応を決めな くてはならなく、変更するのに職員出勤の工夫が必要だ った。計画停電のため、調理器具、照明が使用できなか った。午前中3時間以上の停電になり、給食調理が非常 に困った。火を使うことを控えたため、非常食を提供し た。揚げ物を中止などであった。

震災から半年経過した時点で困っていることは、食材 の放射能汚染に対する対応であった。

産地により使用制限せざるを得ない食材がある。食材 の産地の確認、食材が使えず代替品を入手するなど困難

が生じている。地産地消ができなくなった。牛乳、飲料 水への不安。食材の物価が高い、手に入らないものがあ る。放射能の心配から産地確認など今までにない作業の 増加。食材について放射能汚染を心配する保護者に対し て、市場に出ているものは安全ですとしか答えられない。 野菜等は納入の際に必ず産地を記載してもらう。パソコ ン等でも納入された産地の安全面の確認をする。園外活 動で行っている野菜の栽培で収穫したものを食するため に、自主的に食品検査機関に依頼したが、一品15,000円 もかかった。東北関東圏の食材を制限する家庭があり、 給食の献立より配膳量の調整を依頼された。過剰に気に する保護者がいる。地場産の食材を懸念する保護者があ り、全て県外産の食材で給食を作っているので、食材費 の値上がりをどうして行くか悩んでいる。放射能の関係 から、野菜の産地制限、牛肉不使用など。白飯を家庭よ り持参してもらっているが、被災した家庭にまでお願い してよかったのか悩むところもあるなどであった。

V. 避難訓練

1) 避難訓練

今回の震災で日頃の避難訓練が生かされたかでは、非常に生かせた園が273園(41.1%)、生かせた園が307園(46.2%)、どちらともいえない園が61園(9.2%)、あまり生かせてない園が14園(2.1%)、全く生かせなかった園が2園(0.3%)、不明9園(1.4%)、であった。

非常に生かせたを5とし、全くいかせなかったを1と した場合の5段階評価の平均値は4.27であった(表62)。 避難訓練が生かせた園では、まずは机の下に、その後 園庭中央に、その後園バスを利用し高台の公園へ避難で きた。地震の時は一旦部屋の中央に集まり、揺れが収ま ってから指定場所に避難、という一連の行動がスムーズ に行えた。「おかしも」が徹底され、泣く子もいなく落 ちつた対応であった。なまずと称し、地震の度訓練をし ていたので、すぐに職員の指示を聞く姿勢が子ども達に 出来ていた。地震速報が鳴ったことで職員はゆとりを持 って避難体制がとれ、いつもの訓練と受け止め泣く子も いなかった。2日前にニュージーランドの地震を想定し 訓練を行ったばかりで、毎月の訓練に合わせ今起きてい る事象にあった訓練を行ったことが今回の大震災に生か せた。抜き打ち訓練をしているので、職員の判断、連携 が適切だった。近くの会計事務所の方々が応援に来てく れた。

午睡中すぐに子どもを目覚めさせ、うずくまらせてから上から布団で覆い、すぐに外に飛び出さず情報確認した。戸や窓を開ける、ヒーター・ガス・電灯を消し毛布をかぶり机の下にもぐることができた。子ども達が素早く防災頭巾をかぶり職員の元に集合できた。すぐに情報を把握するため、事務所にテレビを移し活用した。引き渡しカードを利用した。保護者や代理の方への引き渡し

がスムーズにできた。職員は周囲で火災が発生していないか交代制で屋上から見守る等の動きがとれた。市内ほぼ全園の園長が園長会で不在の中、避難できたなどであった。

避難訓練が生かせなかった園で不足していたことは、 日頃の訓練では避難場所に避難するまでが訓練の範囲だ ったので、その部分は完璧だったが、避難後、迎えを待 つまでというのは全く想定していなかったので、どうす べきか迷う部分が多かった。避難時の子どものお迎え方 法、訓練とは全く違うやり方になってしまった。子ども は足がすくんで逃げることができない。泣いて怖がって いる子どもへの精神的なケア。午睡から起きた時だった ので、あまり想定していなかった。地震が大きすぎた。 地震なのに少しして外に避難を主任が誘導してしまっ た。トップの決断力。とっさの判断ができなかった。地 震が今以上強くなるのかどうか様子を見るべきか、外へ 避難すべきか迷ってしまった。いざとなったとき、区な どから指示が来るものと思っていたのが間違いだった。 最後まで園長の判断に委ねられるのがわかった時、もっ と出来る事が考えられるようになっておかないといけな いと知った。園舎を建てたばかりで、施設設備にふなれ であった。避難訓練の回数が少ない、今は月1回行って いるが、今後は月3~4回必要ではないか。地震速報が スピーカーが抜けており、鳴らなかった。余震が続いた 時の対応、避難先は遠いので、近い場所を検討するべき だった。災害用伝言ダイヤルを利用するのを忘れていた。 分担しての施設の点検は難しいなどであった。

2) 避難用具

避難用具は非常に十分だった園は42園(6.3%)で、十分だった園は182園(27.4%)、どちらともいえない園は303園(45.6%)、少し不足した園は94園(14.1%)、大いに不足した園は7園(1.1%)、不明は37園(5.6%)であった。

非常に十分だったを5とし、大いに不足したを1とした場合の5段階評価の平均値は3.25であった(表63)。

十分だった避難用具は、2階からの避難用すべり台、2階への避難は津波対策に良かった。子ども用と大人用の防災頭巾やヘルメット。各クラスに避難袋や名簿を用意。おんぶ紐、避難車、避難靴、防寒着、毛布、簡易テントやブルーシート、メガホン、ワイヤレスマイクなどを日頃から十分に備えていた。

不足した避難用具は、3歳未満児を少人数の職員で遠くへ避難することを考えると避難車が少ない。乳児は避難車よりおんぶしたほうが良かったが、おんぶ紐が不足。急を要したので0~2歳児の避難には帯が必要と感じた。園外に避難となった時、寒さに対する対策が全くなかった。寒さに対する対策で、カイロや温かい飲み物、毛布、電気不要の暖房機、発電機。午睡から目覚めた時間帯で、子どもが薄着であり、防寒になるもの。靴を履かずに飛び出したので取りに行った。避難靴を園庭倉庫

に置くべきだった。暗いところを通って避難する場合の照明が不足した。懐中電灯、電池。第2避難所へ移動するにあたり、非常持出用手押し車、折りたたみリヤカー(ノーパンクタイヤ)。地域の避難所へ移動となった場合の子ども用のヘルメット。乳児用の防災頭巾。停電になった際の灯り。懐中電灯だけでは十分ではなく、LEDのランタンが必要。ラジオ。揺れが長引き屋外に避難していたが、トイレは園舎内のを使用せざるを得なかったのが不安であった。小雨が降ったため、急遽ブルーシートを用意したなど雨天時の避難するテントなどであった。

3) 施設外の避難場所への避難訓練

施設外の避難場所(広域避難地など)への避難訓練を 実施していた園は373園(56.1%)で、行っていなかっ た園は276園(41.5%)、不明が16園(2.4%)であった。 茨城県の70.2%の園では施設外への避難訓練を行ってい なかった園が多かった(表64)。

4) 園外保育中の避難方法

お散歩などの園外保育中に、地震があった場合の避難 方法を考えていた園は346園(52.0%)で、考えていな かった園は284園(42.7%)、不明が35園(5.3%)であ った。

避難を考えていた園は、東京都区部の64.1%、市部の56.9%と、災害が大きかった県より東京都所在の園の方が園外保育中の避難方法を検討していた(表65)。

5) 震災後の避難の検討

震災後、避難場所・避難ルート・避難方法を再検討した園は、火災発生時で検討した園が485園 (72.9%)、検討していない園が148園 (22.3%)。地震発生時で検討した園が554園 (83.3%)、検討していない園が83園 (12.5%)。水害発生時で検討した園が304園 (45.7%)、検討していない園が301園 (45.3%) であった (表66、67、68)。

6) 緊急地震速報の設置状況

緊急地震速報が設置されている園は196園 (29.5%) で、設置なしが438園 (65.9%)、不明が31園 (4.7%) であった (表69)。

設置されている196園では、震災前より設置が110園 (56.1%)、震災後設置が60園 (30.6%)、不明が26園 (13.3%) であった (表70)。

設置されていない438園では、設置の予定がある園が85園(19.4%)、設置の予定のない園が276園(63.0%)、不明が77園(17.6%)であった(表71)。

7) 危険な場所や物

① 園舎内

免震構造のため長い間揺れ続ける傾向があり、棚の上やロッカーの上に置いた備品類が危険と思い、撤去を心掛けた。高層ビル住宅の中にある保育園なので、揺れによる落下物が一番気になった。防火シャッターが強い揺れで作動し閉じた為、避難ルートを変更した。防犯の関係で2箇所の出入り口を電子錠と鍵で閉めているが、緊

急時迅速に園外に慌てず避難できるか不安。エレベータ ー。2~3階の保育室は直ぐに避難できないのではない か。2階からの階段での避難が難しい。2階は1階より 揺れる。吹抜けホールにある大きな扇風機、ホールの照 明、蛍光灯が落下した場合が心配。震度6以上なら壁や 天井のひび割れがあるかもしれない。園舎が古いので天 井が落ちないか不安。非常灯など天井に取り付けられて いるもの、換気扇の蓋も意外と落下しやすいことがわか った。エアコンのカバーも取れやすい。グランドピアノ の足皿が床に固定してあったが揺れのため、足皿からピ アノが飛び出しそうになった。職員の更衣室のロッカー がかなり動いていた。事務所のコピー機は1mほど移動 していた。保育室内は安全配慮がされているが、事務所 書庫が転倒したり前に動いた。事務所の書類棚の観音開 きにはストッパーは必要。扉の付いていない棚、引き戸 が揺れで開いてしまい、中のものが出てしまう。キャス ターの付いた入れ物は動いてしまう。掛け時計、大きな 絵画の額など壁に掛けてある物。高いところの設置した テレビ、パソコン、ドア付近、ガラス付近、トイレのタ イル、観葉植物、仏像、重ねた椅子、園児用テーブルの 積み重ね。棚の上にはさみや重いセロテープ、図鑑など が置いてあるクラスがあり危険。小動物の飼育ケース、 水槽、CDデッキ、花瓶。固定はされているが、ロッカ ーやおもちゃ棚がかなり揺れたので、少し怖かった。お 湯入りポットの落下。給食準備中であれば火元となる調 理室設備。給食作成中のコンロの上の鍋、フライヤー、 鍋の油が波打っていたので危険などであった。

②園舎外

震災時、園舎外のどういう場所・物が危険と思われた かでは、高さのある遊具で子どもが遊んでいたことを想 像すると怖さを感じる。子どもへの指示の工夫。園庭の ポール (旗棒) が揺れるたびに倒れたらどうしようとい う不安があった。2階からの非常用すべり台が急斜面の ため確実に機能するか、非常階段が使用できるか心配。 玄関が狭い、外への出口がゆがんで鍵が開くかどうか心 配。高架水槽の落下の可能性あり。ボイラー室の倒壊。 園庭のマンホールが地震で浮き上がった。冠水して見え ない側溝などが危険。園庭などの段差、地割れ、液状化。 園庭の老木の転倒の不安。電柱、外灯、ブロック塀、フ ェンス、石垣、石門、固定遊具のなどの倒壊。園舎のモ ルタル部分、ガラス窓やサッシ、壁、看板の落下。園舎 に付いている壁面取り付けの園マークの落下。園舎や隣 接する家や建物から落下する屋根瓦が危ない。古いアパ ートが両サイドにあるので、崩れてきたら園舎敷地内に 入ってきてしまう可能性がある。園舎に隣接している墓 地の墓石の落下や、工務店が高く積み上げている木材の 落下。高圧電線が園庭の上を通っているので、地震イコ ール外へ避難するという考えは良くないと判断した。高 層建築の1階にある保育園はどのように考えたらよいの か。園庭には園舎の上にある高層住宅からの落下物が心

配。園庭がなく広い避難地までの通路にも危険がある。園舎内外・地域も同様また広域避難場所が川に面していて、津波となった場合一番危険性のあるところだと思った。近隣の地形状から土砂崩れ、冠水の心配がある。傾斜に沿った木々が倒れないか不安。近隣と密接になっており、地震から火災が発生した時の避難などであった。 ③園周辺地域

園周辺地域で危ないと思った場所やものは、道路の地 割れ、橋の崩壊、土砂崩れ、液状化などが至る所で起こる。 地すべりの危険性がある地域に入っている。100m西側 に河川あり、津波により逆流して氾濫するのでは。河口 近くに位置しているため、津波発生時の避難場所までの 距離があり、避難方法に不安。海が近いので、津波の際 避難する車で園周辺は交通渋滞が発生する。園周辺は海 抜5mと平坦なため、どこへ避難するか。園の前の公園 が土留めとなっているので、今後地震で崩れないか心配。 川のすぐ側にあるため、土手が崩れた際の危険性。大き な川とダムがあるため、氾濫や決壊。高い建物が学校し かなく、近くに川があるので避難時には満員になるので はないか。避難場所へは雑木林を抜けるので、木が倒れ ていたりすると逆に危ないのではないかと思うところも あり、避難移動の安全を確認してからの誘導。樹木が通 りに面して林立、バスなども通る大きな通りで、逆に一 大事となった時通行不可となる危険あり。交差点近くに 保育園があり、停電で信号機が作動しなくなった場合、 車が混雑して園児がスムーズに避難できなくなるのでは ないか。また、周辺が真っ暗になる。踏み切りの遮断機 の故障。帰宅難民の方々が幹線道路の歩道を埋めていて、 何かあったらこの道を急ぐのは厳しいと感じた。区指定 の広域避難場所は交通量が激しいので、園外避難は不安。 広域避難場所までの道路が狭い。近隣の超高層マンショ ンで広域避難場所に指定されていたところの塀の一部が 崩れていた。高層建物の崩壊。園周辺には家やアパート などがあり、それらが倒壊したとき道幅も狭いので通れ なくなるのではないか心配。電線がとてもひどく揺れた ので、切れたりした場合怖いと感じた。ブロック塀や石 塀が軒並み崩れていたので、園の外に出るのは逆に危険 のように思う。住宅街に園があるので、近隣から火災が 発生したら何処に逃げて良いのか判断に困る。ブロック 塀、自動販売機など転倒するものが道が狭い散歩コース にある。橋を渡るなど水辺の散歩や歩道橋にも注意。看 板やタイルなどの落下。新幹線の高架橋の壁の落下、高 速道路、幹線道路の車。農業用用水決壊や水道管破裂で 水があふれる。近くの鉄塔の倒壊。近隣に化学工場、ガ ス会社、ガソリンスタンドなどがあり危険である。

考察

災害を完全に防ぐことは不可能であるが、さまざまな 対策を組み合わせ備えなければならない。わが国は自然 条件から地震、津波、台風、豪雨、豪雪、洪水、火山噴 火などによる災害が発生しやすいが、今回は震災時の危 機対応を中心に検討した。

大災害が発生すると、その後の72時間が極めて重要になるといわれている。情報収集に努めながら保育を継続すると思われるが、災害規模が大きくなればなるほど発生場所に近い地域に情報は入ってこない。近隣の園にも役所にも連絡が付かない状況の中、園長は次々に重要な判断を下す必要に迫られる。園長が不在の場合には、副園長や主任保育士が判断をしなくてはならず、朝や夕方の保育時間に発生した場合では、保育士が判断しなくてはならない状況もある。災害はいつ発生するか予想できないものであり、一人ひとりの危機管理対応能力の向上が必要となる。

地震での被害の大小は地盤によることが多く、まず、 園のある場所の地形・地盤を広い目でみる必要がある。

しかし、今回の東日本大震災は過去の津波災害とまったく異なった災害であり、広域大津波だけにとどまらず、火災、爆発、原発事故、液状化、ガソリン・モノ不足、帰宅困難者、風評被害など、多種多様な災害がドミノ倒しのように、また同時多発的に引き起こされた「広域複合災害」であった。ハザードマップでは浸水区域外とされていた地域が津波に飲み込まれ、安全とされていた避難場所や津波避難ビルに避難した人でさえ犠牲になっている。想定外の事変が起こったときこそ、臨機応変な行動が取れるよう日頃から意識することが大切である。

阪神・淡路大震災は活断層が横ズレして起こった「直 下型地震」で、建物の倒壊が凄まじかった。

阪神・淡路大震災直後に改定されたマニュアルは「都市直下型地震」が基準となっており、インフラ復旧も、阪神・淡路大震災時における応急復旧時間が基準とされている。阪神・淡路大震災では、電気は約1週間、電話は2週間、水道は3週間、ガスは1ヶ月復旧するまでの期間を要した。

東日本大震災は「海溝型」といわれる地震で、プレート同士がぶつかり、跳ね返って起きた地震である。海溝型地震の被害は広範囲にわたり、津波を誘発する傾向にある。東日本大震災では津波による建物の破壊がほとんどで、地震による建物の倒壊は少なかった。

大規模災害後は往々にして、記憶に刻まれた直近の災害を基準にしがちであるが、災害のパターンは一つの事例であって、それがすべての災害の対策における共通法則とはならない。一つの災害を下敷きにした対策では、他の災害にあてはまらない場合もある。過去の多くの災害プラス直近の災害を冷静に検証し、多角的・複眼的な視点での対策が実践的な対策となると思われる。

地震の揺れを感じたらどんな行動をとるかという質問に、多くの人が「火を消す」「ドアを開ける」「机の下に身を隠す」などと答えるそうであるが、実際の地震発生時には、人は揺れを感じた瞬間に照明器具など動くもの

を見上げ「どうせたいしたことはないだろう」とそのままじっとしている人が多く、「大揺れになったら逃げよう」と、大揺れになるのを待ってから行動をとるそうである。

震源地が少しでも離れていれば、大揺れが来る前に小さな揺れが来ることが多い。この小さな揺れを感じたり、緊急地震速報を聞いた時に、直ちに行動を起こすことが重要と言われている。つまり、地震の揺れや緊急地震速報を聞いたら、直ちに「安全ゾーン」へ移動する避難行動を開始することである。この安全ゾーンというのは、転倒落下物やガラス飛散が少なく、閉じ込められない場所のことである。保育室であれば、ロッカーやピアノの側を離れ、天井から落下する物がないスペースで、揺れがおさまるのを待つ体制である。屋外にいたら、できるだけ建物から離れ、広場や駐車場など落下物の少ない場所に移動することである。常にこの場所の「安全ゾーン」は何処であるかを考え保育にあたる必要がある。

災害発生時、園舎または園敷地内の「安全ゾーン」に留まれる避難の程度であることが望ましいが、園敷地内が危険な場合は近隣の避難場所まで避難しなくてはならない。

園から最短経路を把握していても、災害時には浸水や 倒壊などで通れないこともある。また、火災に巻き込ま れやすいところもあり、いくつかの経路を確認し、訓練 しておく必要がある。今回の震災を経験され、多くの園 で今まで実施していた避難訓練の想定の甘さを感じたと 思われる。

避難計画の作成では地域のハザードマップを確認しながら、避難経路、避難場所の検討が必要であるが、ハザードマップは過去の災害に基づいて作成されているため、東日本大震災のように過去最大級の災害が発生した場合には予想を大きく上回ることもある。ハザードマップは国土交通省の「ハザードマップポータブルサイト」で公表されているので、園周辺地域のハザードマップが確認できる。また、政府の中央防災会議では、防災対策の検討のため震度分布の推計などを行い「表層地盤のゆれやすさ全国マップ」を公表しているので、園が設置されている地域の地盤のゆれやすさも知ることができる。地震調査研究推進本部では、将来日本で発生する恐れのある地震による強い揺れを予想し、予測結果を地図として表した「全国地震動予測地図」を公表しているが、東北地方太平洋沖地震を受け改良検討中である。

園から避難する際に点検しなければならないのが、電気とガス、そして戸締りである。

阪神・淡路大震災では、建物が壊れていなく、火を使っていなかったのに火災が発生し、全焼した家屋が多数あり、出火原因がガスと電気だった。電気はブレーカーを落とすのが基本だが、部屋の中でガスが匂うようであれば窓を開けて換気を行うこと。ブレーカーを落とした時にスパークすることがあり、ガスに引火して爆発する

危険がある。都市ガスの場合は、メーター近くにある元 栓、プロパンガスならガスボンベの元栓を閉める。通常 は地震を感知するとマイコンメーターが働き、ガスの供 給は遮断されるが、大地震だけに何が災いになるかわか らない。水道は直ぐには止まらないので、できれば水が 出ているうちに汲み置きをしておく。

古い木造住宅の密集地帯は大規模な火災が発生すると予測されている。そうした地域にいる場合は、まずそこからの脱出を考えることが最優先である。一時避難所の中にはかなり小さな公園もあり、周りを火に囲まれたら逃げ場を失う危険性もあるので、できるだけ大きな避難所を選ぶ方が良いといわれている。ただし、広域避難所が必ずしも安全とは言い切れず、ラジオなどで火災や津波情報を常時把握しておく必要がある。東日本大震災でも、地震で持ちこたえた家屋にいたところ、余震で裏山が崩れたという災難に見舞われたケースがある。大きな地震に遭遇した場合は、避難所でしばらく様子を見ることも必要である。

地震後の犯罪も多いので、窓をしっかり閉めて、玄関の鍵を掛けて防犯に備えるのも忘れない。園を離れてから、近隣で火災が発生することも考えられ、窓が開いていればそこから火が侵入してしまうことにもなりかねない。

園外へ避難する場合では、避難路の状況、子ども達の精神状態が訓練とは異なる。家屋が崩壊し傾いていたり、 道路のアスファルトに亀裂が走っていたり、地下の水が泥と一緒にあふれ出ていたり、電信柱が倒れていたり、ブロック塀が崩れていたり、自動販売機が倒れていたり、停電で信号機が消えていたり、車の渋滞、避難する人が道にあふれ出ていたりと、悪条件のなかで園児を誘導しなくてはならない。非常持ち出し袋も持ちながら、子どもを負ぶい、避難車を押し、泣きながら歩く子ども達を励ましながら手を引き、早く歩けない大勢の子ども達を安全に避難させなければならない。

今回の震災時には近隣の事業所の方などが園児の避難を手伝ってくださったとの回答があり、地域と協力し助け合うことの大切さを強く感じた。特に私立保育園の園長や職員は、地域と共にある保育園という考えのもと、地域のための奉仕活動を積極的に引き受け、地域交流をし、近隣の方々との関係を持つ機会も多い。日頃から保育園の状況を知ってもらい、園外へ避難するような災害発生時には協力を依頼できる関係を築くことも必要であると思われた。

避難状況の連絡では、地震が起きたら電話や携帯はつながらない、基地局が被災すれば回線は使えなくなる。今回の震災では電話による連絡が困難だったため、今後保護者への連絡はメールの利用を多くの園で考えていた。しかし、メールも着信に時間差があるなど万全とは言いがたく、情報化社会の情報の空白は人々を不安にさせる。災害の際の連絡体制は複数の手段を検討しておく

必要がある。

東日本大震災で改めて問われたのは、非常用品の備蓄量が適切であったかではないであろうか。非常用トイレは備蓄されていたがトイレットペーパーがなかったとか、小型発電機はあったが燃料がなかった、ラジオや懐中電灯はあったが予備の乾電池がなかったなど、各所で防災の死角があらわとなった。

従来「水・食料の備蓄は3日分」といわれ、どれくらい必要かイメージが付かず、形式的にしか準備していなかった園も多かったと思うが、今回の震災を経験し、水・食料などを本格的に備蓄する必要性を感じている園が多い。

また、被災の大きさは備蓄品の不足に反映し、避難するだけが精一杯で、食料や飲料水を避難場所まで持って避難できなかった園では不足を強く感じていた。食料や飲料水も持って避難し、避難が長時間になるのであれば避難先にも食料の備蓄が必要である。備蓄品の保管場所が職員の誰にでもわかるように周知していなかった為持ち出せなかった園もあり、備蓄品の保管場所や使用方法の周知徹底も必要である。浸水が想定される場所では、備蓄品は1階には置かず2階に置いたり、園外の避難場所にも備蓄しておく必要がある場合には、地域と協力して災害対策を考えていく必要がある。

東京都では大規模災害時の帰宅困難者対策として、民間企業に3日分の非常食や飲料水、毛布などの備蓄を求める条例を制定する予定である。交通機関がストップした際は、社員を無理に帰宅させず、社内に留まれるようにすることがねらいであるが、大規模災害時は帰宅に1週間かかる者も出ると予想される。

今後起こる大規模災害では、保護者がお迎えにくるま での時間が今回の災害よりかかることが予想される。今 回、2時46分に震災が起き、どれくらいの時間で保護者 はお迎えに来れるのか、訓練ではない引渡しの経験をし た。各園どのくらいの園児の夕食を準備する必要があっ たか、備蓄食で何が使用しやすかったかなど把握できた と思われる。しかし、毎年新入園児があり、保護者の勤 務状況も変わる。午前10時に大震災が起こったなら、余 震でガスが使用できず全園児の昼食は非常食を提供せざ るを得ないかないかもしれない。交通機関が麻痺しお迎 えに来れない園児が多ければ、職員も帰宅できず、職員 分の非常食も数に入れる必要がある。備蓄品の保管スペ ースも限られ、何処まで必要か判断に迷うところである。 企業では、従来の備蓄は社員数に対して30%の3日分だ った備蓄を、80%の7日分に増やしたところもある。保 管するスペースがあり最悪に備えるならば、園児や職員 の人数×0.7×7日分(1日は3食、飲料水は1日2ℓ) が非常用備蓄品の目安といわれている。しかし、保管ス ペースも限られている園も多いことより、保護者の業務 特性、通勤距離、帰宅困難度や地域特性を多角的に判断 し、自園にあった備蓄量の積算が必要である。

食事を1回抜くことはできてもトイレを抜くことはできず、備蓄の三大要素は水、食料、トイレと言われている。水道が止まったときの水洗トイレほど悲惨なものはなく、田園地帯や山林なら穴を掘って用を足せばよいが、都会ではそうはいかない。阪神・淡路大震災では、至る所でトイレに便があふれ、トイレに行くのを我慢した老人や女性、子どもが体調を崩した。避難先には子ども用のトイレも少なく、園庭避難した場合も簡易トイレがなければ、余震が続く中で園舎に入らなければならない。また、保護者への引渡しが長時間に及んだ場合、オムツや紙パンツの備蓄も必要となり、避難先にも持参が必要となる。

今回の大震災は寒い時期にあり、停電も発生した為、 防寒対策の必要性を感じたが、雨や雪などの悪天候時の 避難も検討していかなければならないと思われた。

懐中電灯やランタンだけでは子ども達の不安を和らげるだけの灯りにはならなかったとの回答や、停電の中、暗いところを通って避難するのは懐中電灯だけでは十分でなかった、寒さに困らないようにサバイバルブランケット(アルミ防寒シート)や毛布、カイロ、暖かい飲み物が必要、カセットコンロでは大量に調理が出来ないなどの意見をみると、園外や停電時の避難では暖をとる備品の備蓄を考えておかなくてはならない。しかし、ストーブ類、発電機類を備蓄しても、燃料の保管をどうするかが今後の課題である。

雨天時では、屋外に避難待機するのでは、雨がよけられるテントが必要であり、傘をさして避難所まで歩けるだろうか、レインコートが必要なのではないかと思われた。

電気、水道、ガス、通信のように線や配管でつながっているライフラインは、災害が発生すると途切れてしまう。自治体が定める広域避難所などの防災拠点には、自家発電設備、LPガス、飲料水備蓄タンクなどが設置されているところもあるが、各園の規模でライフラインを自立的に設置するのは困難なことである。ライフラインが整わない中でも、保育を再開した園が数多くあり、困難な中で保育する姿は、地域の人たちの心の安定に多大に寄与していたと思われる。また保育園も、地域、保護者、周りの人達の「共助」に支えられ助けられた。東日本大震災における災害の特異性の一つに地方自治体中枢の被災があり、自治体職員も犠牲になっているため、行政からの「公助」にあたっては時間がかかったと思われる。災害時、保護者に園児を無事に引き渡すまで保育園は「自助」で園児の安全を守らなければならない。

保育園は子どもの安全を守るため、東日本大震災の経験をもとに自園の防災計画を見直し、今防災力を高めていく必要がある。今回の調査研究が少しでも役に立てれば幸いである。

結語

震災後半年を経過してからアンケート調査を実施させていただいた。被災された地域の園には数多くの調査依頼があったと思われる。保育の継続だけでも苦悩されることが沢山ある中、アンケート記入という雑務をしていただき、多くの園から返答をいただけたことに深く感謝申し上げる。

時間に余裕があれば、クロス集計などを行い、より詳細な分析もできるのではと思ったが、余震がいまだに続く中、回答していただいた園に少しでも早く結果をお知らせし、各園の災害対策に少しでも役立てていただければと思った。

お忙しい中、記入欄には沢山のご意見をいただき、被 災地の保育園の方々の頑張り、命を守る使命感に触れ、 貴重なご意見を1件ずつ読んでいただくことが災害対策 を考えるにあたり一番の参考になるものと思われる。 調査にご協力いただきました園の皆様に厚くお礼申し上げるとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

参考文献

山村武彦: 防災・危機管理の再点検. 金融財政事情研究会. 2012. 山村武彦: 大地震これなら生き残れる. 朝日新聞社. 2005.

中邨章・幸田雅治:危機発生後の72時間,第一法規,2006.

中邨章・幸田雅治:危機発生!そのとき地域はどう動く. 第一法規(株), 2006.

鍵屋一:地域防災力強化宣言. ぎょうせい. 2006.

溝上恵・久保範明:巨大地震リアルシュミレーション. 2011.

土岐憲三他:12歳からの被災者学阪神・淡路大震災に学ぶ78の知 恵、NHK出版、2011、

ニッポン放送自信取材班編:大地震発生!生き残るための77に教え、ニッポン放送。2011.

日本経済新聞社: 震災対策ポケットマニュアル. 日本経済新聞. 2011

土木学会:地震なんかに負けない幼稚園・保育園・家庭防災ハンドブック. 学習研究社. 2006.

表 1 定員

| XI XX | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|----------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 20~39名 | 25 | 3.8 | - | - | 4 | 8.3 | 2 | 4.1 | 4 | 3.1 | - | - | - | - | 8 | 4.8 | 7 | 3.1 |
| 40~59名 | 31 | 4.7 | 3 | 12.5 | 5 | 10.4 | 3 | 6.1 | 2 | 1.5 | 3 | 16.7 | - | - | 9 | 5.4 | 6 | 2.7 |
| 60~79名 | 145 | 21.8 | 15 | 62.5 | 15 | 31.3 | 8 | 16.3 | 43 | 32.8 | l | 5.6 | 1 | 33.3 | 29 | 17.4 | 33 | 14.7 |
| 80~99名 | 145 | 21.8 | 5 | 20.8 | 13 | 27.1 | 17 | 34.7 | 32 | 24.4 | 6 | 33.3 | 1 | 33.3 | 38 | 22.8 | 33 | 14.7 |
| 100~119名 | 123 | 18.5 | - | - | 3 | 6.3 | 2 | 4.1 | 5 | 3.8 | 3 | 16.7 | 1 | 33.3 | 36 | 21.6 | 73 | 32.4 |
| 120~139名 | 100 | 15.0 | 1 | 4.2 | 8 | 16.7 | 9 | 18.4 | 24 | 18.3 | 3 | 16.7 | - | - | 21 | 12.6 | 34 | 15.1 |
| 140~159名 | 33 | 5.0 | - | - | - | - | 6 | 12.2 | 7 | 5.3 | l | 5.6 | - | - | 8 | 4.8 | 11 | 4.9 |
| 160~179名 | 19 | 2.9 | - | - | - | - | 1 | 2.0 | 2 | 1.5 | - | - | - | - | 5 | 3.0 | 11 | 4.9 |
| 180~199名 | 10 | 1.5 | - | - | - | - | - | - | 3 | 2.3 | - | - | - | - | 4 | 2.4 | 3 | 1.3 |
| 200~219名 | 9 | 1.4 | - | - | - | - | - | - | 3 | 2.3 | 1 | 5.6 | - | - | 1 | 0.6 | 4 | 1.8 |
| 220~239名 | 3 | 0.5 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | - | - | 2 | 0.9 |
| 240~259名 | 5 | 0.8 | - | - | - | - | - | - | 2 | 1.5 | - | - | - | - | 1 | 0.6 | 2 | 0.9 |
| 260~279名 | 1 | 0.2 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 280~299名 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 300~319名 | 2 | 0.3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.6 | 1 | 0.4 |
| 320~339名 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 340名以上 | 1 | 0.2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.4 |
| 不明 | 13 | 2.0 | - | - | - | - | 1 | 2.0 | 2 | 1.5 | - | - | - | - | 6 | 3.6 | 4 | 1.8 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表 2 震災時

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|----------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 0~19名 | 3 | 0.5 | - | - | 1 | 2.1 | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | 1 | 0.6 | - | - |
| 20~39名 | 23 | 3.5 | 1 | 4.2 | 3 | 6.3 | 2 | 4.1 | 2 | 1.5 | - | - | - | - | 8 | 4.8 | 7 | 3.1 |
| 40~59名 | 35 | 5.3 | 4 | 16.7 | 3 | 6.3 | 3 | 6.1 | 3 | 2.3 | 1 | 5.6 | - | - | 10 | 6.0 | 11 | 4.9 |
| 60~79名 | 126 | 18.9 | 7 | 29.2 | 14 | 29.2 | 4 | 8.2 | 35 | 26.7 | 4 | 22.2 | 1 | 33.3 | 33 | 19.8 | 28 | 12.4 |
| 80~99名 | 94 | 14.1 | 4 | 16.7 | 4 | 8.3 | 6 | 12.2 | 18 | 13.7 | - | - | - | - | 28 | 16.8 | 34 | 15.1 |
| 100~119名 | 164 | 24.7 | 3 | 12.5 | 13 | 27.1 | 14 | 28.6 | 24 | 18.3 | 4 | 22.2 | 2 | 66.7 | 35 | 21.0 | 69 | 30.7 |
| 120~139名 | 83 | 12.5 | 1 | 4.2 | 4 | 8.3 | 4 | 8.2 | 15 | 11.5 | 4 | 22.2 | - | - | 24 | 14.4 | 31 | 13.8 |
| 140~159名 | 39 | 5.9 | 1 | 4.2 | 5 | 10.4 | 5 | 10.2 | 9 | 6.9 | 1 | 5.6 | - | - | 8 | 4.8 | 10 | 4.4 |
| 160~179名 | 27 | 4.1 | - | - | - | - | 4 | 8.2 | 8 | 6.1 | 1 | 5.6 | - | - | 4 | 2.4 | 10 | 4.4 |
| 180~199名 | 14 | 2.1 | - | - | - | - | 2 | 4.1 | 3 | 2.3 | 1 | 5.6 | - | - | 3 | 1.8 | 5 | 2.2 |
| 200~219名 | 7 | 1.1 | - | - | - | - | - | - | 2 | 1.5 | - | - | - | - | 1 | 0.6 | 4 | 1.8 |
| 220~239名 | 3 | 0.5 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 1.3 |
| 240~259名 | 3 | 0.5 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | 1 | 0.6 | 1 | 0.4 |
| 260~279名 | 1 | 0.2 | | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 280~299名 | 1 | 0.2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.4 |
| 300~319名 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 320名以上 | 1 | 0.2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.6 | - | - |
| 不明 | 41 | 6.2 | 3 | 12.5 | 1 | 2.1 | 5 | 10.2 | 9 | 6.9 | 2 | 11.1 | - | - | 10 | 6.0 | 11 | 4.9 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表3 9月1日の在籍数

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|----------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 0~19名 | 4 | 0.6 | 1 | 4.2 | 2 | 4.2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.4 |
| 20~39名 | 25 | 3.8 | 1 | 4.2 | 3 | 6.3 | 2 | 4.1 | 4 | 3.1 | - | - | - | - | 9 | 5.4 | 6 | 2.7 |
| 40~59名 | 43 | 6.5 | 4 | 16.7 | 6 | 12.5 | 4 | 8.2 | 4 | 3.1 | 2 | 11.1 | - | - | 13 | 7.8 | 10 | 4.4 |
| 60~79名 | 118 | 17.7 | 10 | 41.7 | 13 | 27.1 | 6 | 12.2 | 31 | 23.7 | 3 | 16.7 | 1 | 33.3 | 27 | 16.2 | 27 | 12.0 |
| 80~99名 | 99 | 14.9 | - | - | 2 | 4.2 | 10 | 20.4 | 19 | 14.5 | 1 | 5.6 | - | - | 37 | 22.2 | 30 | 13.3 |
| 100~119名 | 161 | 24.2 | 4 | 16.7 | 12 | 25.0 | 9 | 18.4 | 27 | 20.6 | 5 | 27.8 | 1 | 33.3 | 41 | 24.6 | 62 | 27.6 |
| 120~139名 | 92 | 13.8 | - | - | 6 | 12.5 | 7 | 14.3 | 12 | 9.2 | 3 | 16.7 | 1 | 33.3 | 20 | 12.0 | 43 | 19.1 |
| 140~159名 | 37 | 5.6 | 1 | 4.2 | 2 | 4.2 | 4 | 8.2 | 9 | 6.9 | 1 | 5.6 | - | - | 7 | 4.2 | 13 | 5.8 |
| 160~179名 | 34 | 5.1 | - | - | 1 | 2.1 | 4 | 8.2 | 11 | 8.4 | - | - | - | - | 5 | 3.0 | 13 | 5.8 |
| 180~199名 | 12 | 1.8 | - | - | - | - | - | - | 3 | 2.3 | 1 | 5.6 | - | - | 4 | 2.4 | 4 | 1.8 |
| 200~219名 | 7 | 1.1 | - | - | - | - | - | - | 2 | 1.5 | 1 | 5.6 | - | - | 1 | 0.6 | 3 | 1.3 |
| 220~239名 | 4 | 0.6 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | - | - | 3 | 1.3 |
| 240~259名 | 4 | 0.6 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | 1 | 0.6 | 2 | 0.9 |
| 260~279名 | 1 | 0.2 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 280~299名 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 300名以上 | 2 | 0.3 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.4 |
| 不明 | 22 | 3.3 | 3 | 12.5 | 1 | 2.1 | 3 | 6.1 | 5 | 3.8 | l | 5.6 | - | - | 2 | 1.2 | 7 | 3.1 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表4 震災による園児の減少

| P - /P - 0 - 0 1/1 | "/" | _ | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 4 | è 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| ある | 111 | 16.7 | 2 | 8.3 | 11 | 22.9 | 25 | 51.0 | 17 | 13.0 | 3 | 16.7 | - | - | 32 | 19.2 | 21 | 9.3 |
| ない | 544 | 81.8 | 22 | 91.7 | 37 | 77.1 | 23 | 46.9 | 114 | 87.0 | 14 | 77.8 | 3 | 100.0 | 131 | 78.4 | 200 | 88.9 |
| 不明 | 10 | 1.5 | - | - | - | - | 1 | 2.0 | - | - | 1 | 5.6 | - | - | 4 | 2.4 | 4 | 1.8 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表 5 園児の減少数

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|---------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|----|----|-------|----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 0~9名 | 90 | 81.1 | 2 | 100.0 | 5 | 45.5 | 15 | 60.0 | 15 | 93.8 | 3 | 100.0 | - | - | 29 | 100.0 | 20 | 95.2 |
| 10~19名 | 10 | 9.0 | - | - | 2 | 18.2 | 6 | 24.0 | 1 | 6.3 | - | - | - | - | - | - | 1 | 4.8 |
| 20~29名 | 2 | 1.8 | - | - | 1 | 9.1 | 1 | 4.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 30~39名 | - | 0.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 40~49名 | 2 | 1.8 | | - | 2 | 18.2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 50~109名 | - | 0.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 110名以上 | 1 | 0.9 | - | - | - | - | 1 | 4.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 不明 | 6 | 5.4 | - | - | 1 | 9.1 | 2 | 8.0 | - | - | | | | | | | - | - |
| 合計 | 111 | 100.0 | 2 | 100.0 | 11 | 100.0 | 25 | 100.0 | 16 | 100.0 | 3 | 100 | 0 | 0 | 29 | 100 | 21 | 100.0 |

表 6 開所時館

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-----------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 6:30~6:59 | 7 | 1.1 | - | - | - | - | 2 | 4.1 | 3 | 2.3 | - | - | - | - | - | - | 2 | 0.9 |
| 7:00~7:29 | 550 | 82.7 | 24 | 100.0 | 42 | 87.5 | 46 | 93.9 | 101 | 77.1 | 17 | 94.4 | 3 | 100.0 | 130 | 77.8 | 187 | 83.1 |
| 7:30~7:59 | 99 | 14.9 | - | - | 6 | 12.5 | 1 | 2.0 | 25 | 19.1 | - | - | - | - | 34 | 20.4 | 33 | 14.7 |
| 8:00~ | 3 | 0.5 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | 1 | 5.6 | - | - | l | 0.6 | - | - |
| 不明 | 6 | 0.9 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | 2 | 1.2 | 3 | 1.3 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表 7 閉所時館

| 2C 1 1/1/10/10/10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 17:00~18:30 | 69 | 10.4 | - | - | 8 | 16.7 | 2 | 4.1 | 14 | 10.7 | - | - | - | - | 14 | 8.4 | 31 | 13.8 |
| 18:31~19:00 | 328 | 49.3 | 19 | 79.2 | 37 | 77.1 | 42 | 85.7 | 75 | 57.3 | 13 | 72.2 | 3 | 100.0 | 13 | 7.8 | 126 | 56.0 |
| 19:01~20:00 | 193 | 29.0 | 5 | 20.8 | 3 | 6.3 | 5 | 10.2 | 38 | 29.0 | 4 | 22.2 | - | - | 81 | 48.5 | 57 | 25.3 |
| 20:01~ | 65 | 9.8 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | 1 | 5.6 | - | - | 56 | 33.5 | 7 | 3.1 |
| 不明 | 10 | 1.5 | - | - | - | - | - | - | 3 | 2.3 | - | - | - | - | 3 | 1.8 | 4 | 1.8 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表 8 実施保育事業

| 20 70000011 3-70 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 零歳児保育 | 592 | 89.0 | 22 | 91.7 | 47 | 97.9 | 45 | 91.8 | 121 | 92.4 | 17 | 94.4 | 2 | 66.7 | 132 | 79.0 | 206 | 91.6 |
| 延長保育 | 627 | 94.3 | 24 | 100.0 | 44 | 91.7 | 49 | 100.0 | 125 | 95.4 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 153 | 91.6 | 211 | 93.8 |
| 一時保育 | 334 | 50.2 | 13 | 54.2 | 26 | 54.2 | 28 | 57.1 | 106 | 80.9 | 10 | 55.6 | 2 | 66.7 | 54 | 32.3 | 95 | 42.2 |
| 休日保育 | 51 | 7.7 | 5 | 20.8 | 5 | 10.4 | 1 | 2.0 | 23 | 17.6 | 1 | 5.6 | 1 | 33.3 | 7 | 4.2 | 8 | 3.6 |
| 病児・病後児保育 | 65 | 9.8 | 2 | 8.3 | 10 | 20.8 | 5 | 10.2 | 26 | 19.8 | - | - | - | - | 9 | 5.4 | 13 | 5.8 |
| 不明 | 10 | 1.5 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | 6 | 3.6 | 3 | 1.3 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表 9 震災発生時の施設長の所在

| | 7000 | - // 1 | • | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------|--------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 3 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 在園 | 496 | 74.6 | 18 | 75.0 | 38 | 79.2 | 37 | 75.5 | 92 | 70.2 | 15 | 83.3 | 2 | 66.7 | 129 | 77.2 | 165 | 73.3 |
| 外出中 | 161 | 24.2 | 6 | 25.0 | 10 | 20.8 | 12 | 24.5 | 38 | 29.0 | 3 | 16.7 | 1 | 33.3 | 36 | 21.6 | 55 | 24.4 |
| 不明 | 8 | 1.2 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | 2 | 1.2 | 5 | 2.2 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表10 震災発生時の園児以外の利用児

| | 4 | è 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-----|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| いた | 167 | 25.1 | 5 | 20.8 | 15 | 31.3 | 11 | 22.4 | 47 | 35.9 | 2 | 11.1 | 1 | 33.3 | 36 | 21.6 | 50 | 22.2 |
| いない | 487 | 73.2 | 18 | 75.0 | 32 | 66.7 | 37 | 75.5 | 83 | 63.4 | 16 | 88.9 | 2 | 66.7 | 128 | 76.6 | 171 | 76.0 |
| 不明 | 11 | 1.7 | 1 | 4.2 | 1 | 2.1 | 1 | 2.0 | 1 | 0.8 | - | - | - | - | 3 | 1.8 | 4 | 1.8 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表11 利用児の内訳

| | 4 | 论体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|--------------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 一時保育利用児 | 134 | 72.8 | 5 | 100.0 | 9 | 56.3 | 7 | 53.8 | 40 | 81.6 | 1 | 50.0 | 1 | 100.0 | 29 | 72.5 | 42 | 72.4 |
| 地域子育て拠点事業利用児 | 17 | 9.2 | - | - | 2 | 12.5 | 2 | 15.4 | 2 | 4.1 | 1 | 50.0 | - | - | 5 | 12.5 | 5 | 8.6 |
| 見学児 | 7 | 3.8 | - | - | 2 | 12.5 | - | - | 1 | 2.0 | - | - | - | - | l | 2.5 | 3 | 5.2 |
| その他 | 26 | 14.1 | - | - | 3 | 18.8 | 4 | 30.8 | 6 | 12.2 | - | - | - | - | 5 | 12.5 | 8 | 13.8 |
| 合計 | 184 | 100.0 | 5 | 100.0 | 16 | 100.0 | 13 | 100.0 | 49 | 100.0 | 2 | 100.0 | 1 | 100.0 | 40 | 100.0 | 58 | 100.0 |

表12 園児の避難待機場所

| | É | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 園敷地内 | 553 | 83.2 | 20 | 83.3 | 32 | 66.7 | 37 | 75.5 | 109 | 83.2 | 12 | 66.7 | 3 | 100.0 | 141 | 84.4 | 199 | 88.4 |
| 園敷地外 | 105 | 15.8 | 4 | 16.7 | 16 | 33.3 | 12 | 24.5 | 22 | 16.8 | 6 | 33.3 | - | - | 22 | 13.2 | 23 | 10.2 |
| 不明 | 10 | 1.5 | - | - | 1 | 2.1 | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | 4 | 2.4 | 4 | 1.8 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表13 園敷地外での避難場所

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|------------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-----|----|-------|----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 決めていた場所 | 75 | 71.4 | 3 | 75.0 | 14 | 87.5 | 6 | 50.0 | 13 | 59.1 | 4 | 66.7 | - | - | 17 | 77.3 | 18 | 78.3 |
| 決めていなかった場所 | 20 | 19.0 | - | - | 2 | 12.5 | 4 | 33.3 | 7 | 31.8 | 1 | 16.7 | - | - | 3 | 13.6 | 3 | 13.0 |
| 不明 | 10 | 9.5 | 1 | 25.0 | - | - | 2 | 16.7 | 2 | 9.1 | l | 16.7 | - | - | 2 | 9.1 | 2 | 8.7 |
| 合計 | 105 | 100.0 | 4 | 100.0 | 16 | 100.0 | 12 | 100.0 | 22 | 100.0 | 6 | 100.0 | 0 | 0.0 | 22 | 100.0 | 23 | 100.0 |

表14 園舎 (建物) 被害の有無

| 太日 四日 (足内) 10 | | 13 202 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|-----|--------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 至 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 被害あり | 234 | 35.2 | 4 | 16.7 | 27 | 56.3 | 31 | 63.3 | 87 | 66.4 | 10 | 55.6 | 2 | 66.7 | 47 | 28.1 | 26 | 11.6 |
| 被害なし | 428 | 64.4 | 20 | 83.3 | 21 | 43.8 | 18 | 36.7 | 44 | 33.6 | 8 | 44.4 | 1 | 33.3 | 119 | 71.3 | 197 | 87.6 |
| 不明 | 3 | 0.5 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | l | 0.6 | 2 | 0.9 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表15 園舎(建物)の被害状況

| 74.0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 | - 10V III | V 4 D L | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------|---------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|
| | 3 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 壁などに亀裂 | 133 | 56.8 | 1 | 25.0 | 8 | 29.6 | 17 | 54.8 | 52 | 59.8 | 5 | 50.0 | 2 | 100.0 | 33 | 70.2 | 15 | 57.7 |
| その他 | 71 | 30.3 | 2 | 50.0 | 15 | 55.6 | 9 | 29.0 | 24 | 27.6 | 4 | 40.0 | - | - | 9 | 19.1 | 8 | 30.8 |
| 不明 | 30 | 12.8 | 1 | 25.0 | 4 | 14.8 | 5 | 16.1 | 11 | 12.6 | l | 10.0 | - | - | 5 | 10.6 | 3 | 11.5 |
| 合計 | 234 | 100.0 | 4 | 100.0 | 27 | 100.0 | 31 | 100.0 | 87 | 100.0 | 10 | 100.0 | 2 | 100.0 | 47 | 100.0 | 26 | 100.0 |

表16 破損物や転倒・落下物の有無

| banna in the a | | 1.0 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| あり | 232 | 34.9 | 7 | 29.2 | 33 | 68.8 | 28 | 57.1 | 93 | 71.0 | 8 | 44.4 | 2 | 66.7 | 38 | 22.8 | 23 | 10.2 |
| なし | 423 | 63.6 | 17 | 70.8 | 14 | 29.2 | 21 | 42.9 | 35 | 26.7 | 10 | 55.6 | 1 | 33.3 | 126 | 75.4 | 199 | 88.4 |
| 不明 | 10 | 1.5 | - | - | 1 | 2.1 | - | - | 3 | 2.3 | - | - | - | - | 3 | 1.8 | 3 | 1.3 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表17 園庭被害の有無

| | 4 | è 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|------|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 被害あり | 81 | 12.2 | 6 | 25.0 | 17 | 35.4 | 11 | 22.4 | 29 | 22.1 | 2 | 11.1 | - | - | 13 | 7.8 | 3 | 1.3 |
| 被害なし | 569 | 85.6 | 18 | 75.0 | 31 | 64.6 | 37 | 75.5 | 100 | 76.3 | 16 | 88.9 | 3 | 100.0 | 146 | 87.4 | 218 | 96.9 |
| 不明 | 15 | 2.3 | - | - | - | - | 1 | 2.0 | 2 | 1.5 | - | - | - | - | 8 | 4.8 | 4 | 1.8 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表18 園庭の被害状況

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-----|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|----|----|-------|----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 亀裂 | 53 | 60.9 | 2 | 33.3 | 13 | 76.5 | 5 | 45.5 | 20 | 48.8 | 1 | 50.0 | - | - | 9 | 69.2 | 3 | 100.0 |
| 液状化 | 13 | 14.9 | 1 | 16.7 | - | - | 2 | 18.2 | 10 | 24.4 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| その他 | 21 | 24.1 | 3 | 50.0 | 3 | 17.6 | 1 | 9.1 | 11 | 26.8 | l | 50.0 | - | - | 2 | 15.4 | - | - |
| 不明 | - | - | - | - | 1 | 5.9 | 3 | 27.3 | - | - | - | - | - | - | 2 | 15.4 | - | - |
| 合計 | 87 | 100.0 | 6 | 100.0 | 17 | 100.0 | 11 | 100.0 | 41 | 100.0 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 13 | 100.0 | 3 | 100.0 |

表19 津波被害の有無

| | 3 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|----|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| あり | 18 | 2.7 | 3 | 12.5 | 11 | 22.9 | 2 | 4.1 | 2 | 1.5 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| なし | 643 | 96.7 | 21 | 87.5 | 36 | 75.0 | 47 | 95.9 | 129 | 98.5 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 222 | 98.7 |
| 不明 | 4 | 0.6 | - | - | 1 | 2.1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 1.3 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表20 津波の被害状況

| PT II DT - DT II DTD | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|------|----|-----|----|----|----|-----|----|-----|
| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 近くまで来た | 8 | 44.4 | l | 33.3 | 4 | 36.4 | 2 | 100.0 | 1 | 50.0 | - | - | - | - | - | _ | - | - |
| 一部襲われた | 4 | 22.2 | 1 | 33.3 | 3 | 27.3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 倒壊した | 2 | 11.1 | l | 33.3 | l | 9.1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | _ | - | - |
| 不明 | 4 | 22.2 | - | - | 3 | 27.3 | - | - | 1 | 50.0 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合計 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 11 | 100.0 | 2 | 100 | 2 | 100 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 |

表21 震災による負傷者の有無

| | 4 | è 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-----|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| いる | 6 | 0.9 | - | - | 1 | 2.1 | 1 | 2.0 | 3 | 2.3 | 1 | 5.6 | - | - | - | - | - | - |
| いない | 656 | 98.6 | 24 | 100.0 | 46 | 95.8 | 48 | 98.0 | 128 | 97.7 | 17 | 94.4 | 3 | 100.0 | 166 | 99.4 | 224 | 99.6 |
| 不明 | 3 | 0.5 | - | - | 1 | 2.1 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.6 | 1 | 0.4 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表22 園児の負傷数

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|------|----|-----------|----|-----|----|-------|----|-------|----|-------|----|-----|----|----|----|-----|----|-----|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 0~1名 | 3 | 75.0 | - | - | - | - | 1 | 100.0 | 2 | 66.7 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 2~3名 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 4~5名 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 6名以上 | 1 | 25.0 | - | - | - | - | - | - | 1 | 33.3 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合計 | 4 | 100.0 | 0 | 0.0 | 0 | 100.0 | 1 | 100 | 3 | 100.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 |

表23 職員の負傷数

| | | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-----|----|-------|----|-----|----|-------|----|-------|----|----|----|-------|----|----|----|-----|----|-----|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 1名 | 2 | 66.7 | - | - | 1 | 100.0 | 1 | 100.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 2名 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 3以上 | 1 | 33.3 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 100.0 | - | - | - | - | - | - |
| 合計 | 3 | 100.0 | 0 | 0.0 | 1 | 100.0 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 |

表24 停電の有無

| | 4 | 企体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|------|-----|-----------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 停電あり | 292 | 43.9 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 15 | 30.6 | 104 | 79.4 | 16 | 88.9 | 1 | 33.3 | 4 | 2.4 | 80 | 35.6 |
| 停電なし | 367 | 55.2 | - | - | - | - | 33 | 67.3 | 27 | 20.6 | 2 | 11.1 | 2 | 66.7 | 160 | 95.8 | 143 | 63.6 |
| 不明 | 6 | 0.9 | - | - | - | - | 1 | 2.0 | - | - | - | - | - | - | 3 | 1.8 | 2 | 0.9 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表25 常時停電と計画停電

| | 4 | è 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|------|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 常時停電 | 189 | 63.2 | 22 | 91.7 | 44 | 91.7 | 11 | 73.3 | 94 | 90.4 | 11 | 47.8 | 1 | 100.0 | 1 | 25.0 | 5 | 6.3 |
| 計画停電 | 97 | 32.4 | 1 | 4.2 | - | - | 3 | 20.0 | 8 | 7.7 | 12 | 52.2 | - | - | 2 | 50.0 | 71 | 88.8 |
| 不明 | 13 | 4.3 | l | 4.2 | 4 | 8.3 | 1 | 6.7 | 2 | 1.9 | - | - | - | - | 1 | 25.0 | 4 | 5.0 |
| 合計 | 299 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 15 | 100.0 | 104 | 100.0 | 23 | 100.0 | 1 | 100.0 | 4 | 100.0 | 80 | 100.0 |

表26 常時停電期間

| | 至 | 注 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|--------|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| ~4日 | 162 | 85.7 | 21 | 95.5 | 27 | 61.4 | 10 | 90.9 | 87 | 92.6 | 11 | 100.0 | 1 | 100.0 | 1 | 100.0 | 4 | 80.0 |
| 5~9日 | 19 | 10.1 | l | 4.5 | 10 | 22.7 | 1 | 9.1 | 7 | 7.4 | - | | - | - | - | - | - | - |
| 10~14日 | 2 | 1.1 | - | - | 2 | 4.5 | - | - | - | - | - | | - | - | - | - | - | - |
| 15~19日 | 1 | 0.5 | - | - | 1 | 2.3 | - | - | - | - | - | | - | - | - | - | - | - |
| 20~24日 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | - | - | - | - | - | - |
| 25~29日 | 1 | 0.5 | - | - | 1 | 2.3 | - | - | - | - | - | | - | - | - | - | - | - |
| 30~34日 | 2 | 1.1 | - | - | 2 | 4.5 | - | - | - | - | - | | - | - | - | - | - | - |
| 35~39日 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | - | - | - | - | - | - |
| 40日以上 | 1 | 0.5 | - | - | 1 | 2.3 | - | - | - | - | - | | - | - | - | - | - | - |
| 不明 | 1 | 0.5 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 20.0 |
| 合計 | 189 | 100.0 | 22 | 100.0 | 44 | 100.0 | 11 | 100.0 | 94 | 100.0 | 11 | 100.0 | 1 | 100.0 | l | 100.0 | 5 | 100.0 |

表27 計画停電期間

| | 4 | è 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|--------|----|------------|----|-------|----|----|----|-------|----|-------|----|-------|----|----|----|-------|----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| ~9日 | 69 | 71.1 | 1 | 100.0 | - | - | 3 | 100.0 | 8 | 100.0 | 8 | 66.7 | - | - | 1 | 50.0 | 48 | 67.6 |
| 10~19日 | 13 | 13.4 | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 16.7 | - | - | - | - | 11 | 15.5 |
| 20~29日 | 1 | 1.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 1.4 |
| 30~39日 | 3 | 3.1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 4.2 |
| 40~89日 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 90日以上 | 1 | 1.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 8.3 | - | - | - | - | - | - |
| 不明 | 10 | 10.3 | | | | | | | | | 1 | 8.3 | | | 1 | 50.0 | 8 | 11.3 |
| 合計 | 97 | 100.0 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 3 | 100.0 | 8 | 100.0 | 12 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 100.0 | 71 | 100.0 |

表28 断水の有無

| >4=0 H1/1 > 11/11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 4 | è 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 断水あり | 175 | 26.3 | 1 | 4.2 | 28 | 58.3 | 27 | 55.1 | 107 | 81.7 | 3 | 16.7 | - | - | 2 | 1.2 | 7 | 3.1 |
| 断水なし | 482 | 72.5 | 23 | 95.8 | 20 | 41.7 | 22 | 44.9 | 22 | 16.8 | 15 | 83.3 | 3 | 100.0 | 162 | 97.0 | 215 | 95.6 |
| 不明 | 8 | 1.2 | - | - | - | - | - | - | 2 | 1.5 | - | - | - | - | 3 | 1.8 | 3 | 1.3 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表29 断水期間

| | 4 | 企体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|--------|-----|-----------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|----|----|-------|----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| ~4∃ | 64 | 41.3 | 1 | 100.0 | 5 | 17.9 | 6 | 22.2 | 45 | 42.1 | 3 | 100.0 | - | - | - | - | 4 | 57.1 |
| 5~9.日 | 51 | 32.9 | - | - | 10 | 35.7 | 9 | 33.3 | 31 | 29.0 | - | - | - | - | - | - | 1 | 14.3 |
| 10~14日 | 18 | 11.6 | - | - | 3 | 10.7 | 4 | 14.8 | 11 | 10.3 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 15~19日 | 6 | 3.9 | - | - | - | - | 4 | 14.8 | 2 | 1.9 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 20~24日 | 6 | 3.9 | - | - | - | - | 1 | 3.7 | 5 | 4.7 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 25~29日 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 30~34日 | 8 | 5.2 | - | - | 4 | 14.3 | - | - | 4 | 3.7 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 35~39日 | 1 | 0.6 | - | - | - | - | 1 | 3.7 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 40~59日 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 60日以上 | 1 | 0.6 | - | - | 1 | 3.6 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 不明 | - | - | - | - | 5 | 17.9 | 2 | 7.4 | 9 | 8.4 | - | - | - | - | 2 | 100.0 | 2 | 28.6 |
| 合計 | 155 | 100.0 | 1 | 100.0 | 28 | 100.0 | 27 | 100.0 | 107 | 100.0 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 100.0 | 7 | 100.0 |

表30 ガス停止の有無

| | 4 | è 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|------|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 停止あり | 62 | 9.3 | l | 4.2 | 12 | 25.0 | 3 | 6.1 | 20 | 15.3 | - | - | 1 | 33.3 | 20 | 12.0 | 5 | 2.2 |
| 停止なし | 587 | 88.3 | 23 | 95.8 | 36 | 75.0 | 46 | 93.9 | 101 | 77.1 | 18 | 100.0 | 2 | 66.7 | 144 | 86.2 | 217 | 96.4 |
| 不明 | 16 | 2.4 | - | - | - | - | - | - | 10 | 7.6 | - | - | - | - | 3 | 1.8 | 3 | 1.3 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表31 ガス停止期間

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|----------|----|-----------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|----|----|-------|----|-------|----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| ~9日 | 34 | 54.8 | - | - | 3 | 25.0 | 2 | 66.7 | 16 | 80.0 | - | - | 1 | 100.0 | 10 | 50.0 | 2 | 40.0 |
| 10~19日 | 3 | 4.8 | - | - | 2 | 16.7 | 1 | 33.3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 20~29日 | 2 | 3.2 | 1 | 100.0 | 1 | 8.3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 30. ~59日 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - 1 |
| 60日位以上 | 1 | 1.6 | - | - | 1 | 8.3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 不明 | 22 | 35.5 | - | - | 5 | 41.7 | - | - | 4 | 20.0 | - | - | - | - | 10 | 50.0 | 3 | 60.0 |
| 合計 | 62 | 100.0 | 1 | 100 | 12 | 100.0 | 3 | 100.0 | 20 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 100.0 | 20 | 100.0 | 5 | 100.0 |

表32 地震発生時の保護者への連絡

| | 4 | è 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-----------|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|------|-------|------|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| すぐに行えた | 56 | 8.4 | 1 | 4.2 | 6 | 12.5 | 6 | 12.2 | 12 | 9.2 | 1 | 5.6 | - | - | 10 | 6.0 | 20 | 8.9 |
| 行えた | 79 | 11.9 | 2 | 8.3 | 4 | 8.3 | 3 | 6.1 | 16 | 12.2 | 2 | 11.1 | - | - | 13 | 7.8 | 39 | 17.3 |
| どちらともいえない | 130 | 19.5 | 4 | 16.7 | 5 | 10.4 | 5 | 10.2 | 18 | 13.7 | 2 | 11.1 | - | - | 46 | 27.5 | 50 | 22.2 |
| 苦労した | 189 | 28.4 | 4 | 16.7 | 9 | 18.8 | 14 | 28.6 | 36 | 27.5 | 7 | 38.9 | - | - | 55 | 32.9 | 64 | 28.4 |
| 大変苦労した | 151 | 22.7 | 11 | 45.8 | 16 | 33.3 | 16 | 32.7 | 40 | 30.5 | 6 | 33.3 | 1 | 33.3 | 25 | 15.0 | 36 | 16.0 |
| 不明 | 61 | 9.2 | 2 | 8.3 | 8 | 16.7 | 5 | 10.2 | 10 | 7.6 | - | - | 2 | 66.7 | 18 | 10.8 | 16 | 7.1 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |
| 5段階評価 | 2 | .50 | 2 | .00 | 2 | .38 | 2 | .30 | 2 | .38 | 2 | .17 | 1 | .00 | 2.52 | | 2.73 | |

表33 保護者連絡の困難の有無

| | 4 | 企 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|----|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| あり | 491 | 73.8 | 17 | 70.8 | 36 | 75.0 | 38 | 77.6 | 97 | 74.0 | 17 | 94.4 | 1 | 33.3 | 128 | 76.6 | 157 | 69.8 |
| なし | 127 | 19.1 | 7 | 29.2 | 8 | 16.7 | 9 | 18.4 | 25 | 19.1 | 1 | 5.6 | 2 | 66.7 | 24 | 14.4 | 51 | 22.7 |
| 不明 | 47 | 7.1 | - | - | 4 | 8.3 | 2 | 4.1 | 9 | 6.9 | - | - | - | - | 15 | 9.0 | 17 | 7.6 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表34 震災発生時の連絡方法

| | 4 | 注 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|------------|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 固定電話 | 370 | 55.6 | 8 | 33.3 | 6 | 12.5 | 30 | 61.2 | 54 | 41.2 | 8 | 44.4 | 2 | 66.7 | 120 | 71.9 | 142 | 63.1 |
| 携帯電話 | 323 | 48.6 | 11 | 45.8 | 22 | 45.8 | 32 | 65.3 | 81 | 61.8 | 11 | 61.1 | 3 | 100.0 | 71 | 42.5 | 92 | 40.9 |
| パソコンからのメール | 118 | 17.7 | 1 | 4.2 | - | - | 5 | 10.2 | 17 | 13.0 | - | - | 1 | 33.3 | 35 | 21.0 | 59 | 26.2 |
| 携帯からのメール | 89 | 13.4 | 3 | 12.5 | 7 | 14.6 | 9 | 18.4 | 25 | 19.1 | 4 | 22.2 | 1 | 33.3 | 20 | 12.0 | 20 | 8.9 |
| ホームページへの掲載 | 37 | 5.6 | - | - | 1 | 2.1 | 2 | 4.1 | 3 | 2.3 | - | - | 1 | 33.3 | 9 | 5.4 | 21 | 9.3 |
| 公衆電話 | 9 | 1.4 | - | - | - | - | 2 | 4.1 | 5 | 3.8 | - | - | - | - | - | - | 2 | 0.9 |
| その他 | 100 | 15.0 | 9 | 37.5 | 21 | 43.8 | 7 | 14.3 | 22 | 16.8 | 4 | 22.2 | 1 | 33.3 | 18 | 10.8 | 18 | 8.0 |
| 不明 | 57 | 8.6 | 2 | 8.3 | 7 | 14.6 | 5 | 10.2 | 10 | 7.6 | l | 5.6 | - | - | 12 | 7.2 | 20 | 8.9 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表35 今後の連絡方法

| | 4 | è体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|------------|-----|-----------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| パソコンからのメール | 345 | 51.9 | 5 | 20.8 | 11 | 22.9 | 30 | 61.2 | 61 | 46.6 | 5 | 27.8 | 1 | 33.3 | 98 | 58.7 | 134 | 59.6 |
| 携帯からのメール | 277 | 41.7 | 12 | 50.0 | 24 | 50.0 | 17 | 34.7 | 71 | 54.2 | 12 | 66.7 | 2 | 66.7 | 61 | 36.5 | 78 | 34.7 |
| 固定電話 | 209 | 31.4 | 10 | 41.7 | 12 | 25.0 | 12 | 24.5 | 26 | 19.8 | 5 | 27.8 | 2 | 66.7 | 60 | 35.9 | 82 | 36.4 |
| 携帯電話 | 200 | 30.1 | 13 | 54.2 | 23 | 47.9 | 13 | 26.5 | 41 | 31.3 | 10 | 55.6 | 2 | 66.7 | 39 | 23.4 | 59 | 26.2 |
| ホームページへの掲載 | 187 | 28.1 | 1 | 4.2 | 6 | 12.5 | 12 | 24.5 | 19 | 14.5 | 6 | 33.3 | 1 | 33.3 | 65 | 38.9 | 77 | 34.2 |
| 公衆電話 | 16 | 2.4 | - | - | - | - | 3 | 6.1 | 3 | 2.3 | - | - | - | - | 5 | 3.0 | 5 | 2.2 |
| その他 | 88 | 13.2 | 4 | 16.7 | 11 | 22.9 | 5 | 10.2 | 12 | 9.2 | 2 | 11.1 | 1 | 33.3 | 29 | 17.4 | 24 | 10.7 |
| 不明 | 54 | 8.1 | 2 | 8.3 | 2 | 4.2 | 2 | 4.1 | 20 | 15.3 | 1 | 5.6 | - | - | 15 | 9.0 | 12 | 5.3 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表36 震災当日の開所時間の延長

| 200 1250 1177 | 100100 | ->~-> | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | = | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 行った | 466 | 70.1 | 11 | 45.8 | 21 | 43.8 | 25 | 51.0 | 76 | 58.0 | 9 | 50.0 | 1 | 33.3 | 161 | 96.4 | 162 | 72.0 |
| 行わなかった | 175 | 26.3 | 13 | 54.2 | 25 | 52.1 | 23 | 46.9 | 50 | 38.2 | 8 | 44.4 | 2 | 66.7 | 2 | 1.2 | 52 | 23.1 |
| 不明 | 24 | 3.6 | - | - | 2 | 4.2 | 1 | 2.0 | 5 | 3.8 | 1 | 5.6 | - | - | 4 | 2.4 | 11 | 4.9 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表37 閉園時間後も保育した園児数

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|--------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| ~9名 | 251 | 53.9 | 9 | 81.8 | 12 | 57.1 | 17 | 68.0 | 51 | 67.1 | 7 | 77.8 | 1 | 100.0 | 61 | 37.9 | 93 | 57.4 |
| 10~19名 | 68 | 14.6 | - | - | 2 | 9.5 | 2 | 8.0 | 7 | 9.2 | - | - | - | - | 29 | 18.0 | 28 | 17.3 |
| 20~29名 | 26 | 5.6 | - | - | 2 | 9.5 | 1 | 4.0 | 2 | 2.6 | - | - | - | - | 17 | 10.6 | 4 | 2.5 |
| 30~39名 | 10 | 2.1 | - | - | 1 | 4.8 | 1 | 4.0 | 2 | 2.6 | - | - | - | - | 3 | 1.9 | 3 | 1.9 |
| 40~49名 | 2 | 0.4 | - | - | 1 | 4.8 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.6 |
| 50~59名 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 60~69名 | 1 | 0.2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.6 |
| 70名以上 | 1 | 0.2 | - | - | - | - | 1 | 4.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 不明 | 107 | 23.0 | 2 | 18.2 | 3 | 14.3 | 3 | 12.0 | 14 | 18.4 | 2 | 22.2 | - | - | 51 | 31.7 | 32 | 19.8 |
| 合計 | 466 | 100.0 | 11 | 100.0 | 21 | 100.0 | 25 | 100.0 | 76 | 100.0 | 9 | 100.0 | 1 | 100.0 | 161 | 100.0 | 162 | 100.0 |

表38 保護者への引渡し時間

| | 至 | 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-----|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-----|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 19時 | 36 | 7.7 | 2 | 18.2 | 3 | 14.3 | 4 | 16.0 | 12 | 15.8 | 1 | 11.1 | - | - | 4 | 2.5 | 10 | 6.2 |
| 20時 | 68 | 14.6 | 4 | 36.4 | 1 | 4.8 | 10 | 40.0 | 20 | 26.3 | 4 | 44.4 | - | - | 9 | 5.6 | 20 | 12.3 |
| 21時 | 69 | 14.8 | 3 | 27.3 | 1 | 4.8 | 4 | 16.0 | 19 | 25.0 | 2 | 22.2 | - | - | 16 | 9.9 | 24 | 14.8 |
| 22時 | 48 | 10.3 | 1 | 9.1 | - | - | 2 | 8.0 | 5 | 6.6 | 1 | 11.1 | - | - | 22 | 13.7 | 17 | 10.5 |
| 23時 | 58 | 12.4 | 1 | 9.1 | - | - | 1 | 4.0 | 4 | 5.3 | - | - | - | - | 33 | 20.5 | 19 | 11.7 |
| 0時 | 29 | 6.2 | - | - | - | - | - | - | 3 | 3.9 | - | - | - | - | 14 | 8.7 | 12 | 7.4 |
| l時 | 20 | 4.3 | - | - | 1 | 4.8 | - | - | - | - | - | - | - | - | 5 | 3.1 | 14 | 8.6 |
| 2時 | 20 | 4.3 | - | - | - | - | - | - | 2 | 2.6 | - | - | - | - | 12 | 7.5 | 6 | 3.7 |
| 3時 | 14 | 3.0 | - | - | 1 | 4.8 | - | - | - | - | - | - | - | - | 7 | 4.3 | 6 | 3.7 |
| 4時 | 10 | 2.1 | - | - | 1 | 4.8 | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 1.2 | 7 | 4.3 |
| 5時 | 6 | 1.3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 1.9 | 3 | 1.9 |
| 6時 | 3 | 0.6 | - | - | - | - | - | - | 1 | 1.3 | - | - | - | - | 2 | 1.2 | - | - |
| 7時 | 15 | 3.2 | - | - | - | - | - | - | 2 | 2.6 | - | - | - | - | 6 | 3.7 | 7 | 4.3 |
| その他 | 58 | 12.4 | - | - | 13 | 61.9 | 4 | 16.0 | 5 | 6.6 | 1 | 11.1 | - | - | 19 | 11.8 | 15 | 9.3 |
| 不明 | 12 | 2.6 | - | - | - | - | - | - | 3 | 3.9 | - | - | l | | 7 | 4.3 | 2 | 1.2 |
| 合計 | 466 | 100.0 | 11 | 100.0 | 21 | 100.0 | 25 | 100.0 | 76 | 100.0 | 9 | 100.0 | 1 | 0.0 | 161 | 100.0 | 162 | 100.0 |

表39 食料の備蓄状況

| X33 及付り開留がり | | 体 | 丰 | 森県 | 뿌 | 手県 | 加 | 島県 | =#3 | 城県 | 粧 | 木県 | 工 | 葉県 | 审古 | 都区部 | 市台 | 都市部 |
|-------------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | | | | | | | | | | | , | | | | | | _ | |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 非常に十分あった | 120 | 18.0 | 6 | 25.0 | 1 | 2.1 | 5 | 10.2 | 12 | 9.2 | 4 | 22.2 | 1 | 33.3 | 32 | 19.2 | 59 | 26.2 |
| 十分あった | 259 | 38.9 | 6 | 25.0 | 16 | 33.3 | 20 | 40.8 | 48 | 36.6 | 6 | 33.3 | 2 | 66.7 | 75 | 44.9 | 86 | 38.2 |
| どちらともいえない | 71 | 10.7 | 1 | 4.2 | 4 | 8.3 | 10 | 20.4 | 21 | 16.0 | 3 | 16.7 | - | - | 16 | 9.6 | 16 | 7.1 |
| 不足した | 12 | 1.8 | 1 | 4.2 | - | - | 1 | 2.0 | 7 | 5.3 | - | - | - | - | 3 | 1.8 | - | - |
| 大いに不足した | 2 | 0.3 | - | - | - | - | - | - | 2 | 1.5 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 不明 | 202 | 30.4 | 10 | 41.7 | 27 | 56.3 | 13 | 26.5 | 41 | 31.3 | 5 | 27.8 | - | - | 42 | 25.1 | 64 | 28.4 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |
| 5段階評価 | 4 | .04 | 4 | .21 | 3 | .86 | 3 | .81 | 3 | .68 | 4 | .08 | 4 | .33 | 4 | .08 | 4 | .27 |

表40 幼児食の備蓄状況

| | | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-----------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 非常に十分あった | 80 | 12.0 | 3 | 12.5 | - | - | - | - | 14 | 10.7 | 3 | 16.7 | - | - | 27 | 16.2 | 33 | 14.7 |
| 十分あった | 128 | 19.2 | 8 | 33.3 | 10 | 20.8 | 10 | 20.4 | 27 | 20.6 | 3 | 16.7 | 1 | 33.3 | 27 | 16.2 | 42 | 18.7 |
| どちらともいえない | 52 | 7.8 | 1 | 4.2 | 8 | 16.7 | 6 | 12.2 | 11 | 8.4 | 2 | 11.1 | - | - | 10 | 6.0 | 14 | 6.2 |
| 不足した | 20 | 3.0 | 1 | 4.2 | 5 | 10.4 | - | - | 9 | 6.9 | - | - | - | - | 3 | 1.8 | 2 | 0.9 |
| 大いに不足した | 24 | 3.6 | - | - | 4 | 8.3 | 2 | 4.1 | 3 | 2.3 | - | - | - | - | 6 | 3.6 | 9 | 4.0 |
| 不明 | 361 | 54.3 | 11 | 45.8 | 21 | 43.8 | 31 | 63.3 | 67 | 51.1 | 10 | 55.6 | 2 | 66.7 | 94 | 56.3 | 125 | 55.6 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |
| 5段階評価 | 3 | 3.72 | 4 | .00 | 2 | 89 | 3 | .33 | 3 | .63 | 4 | .13 | 4 | .00 | 3 | .90 | 3 | .88 |

表41 離乳食の備蓄状況

| | 4 | 企体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-----------|-----|-----------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 非常に十分あった | 57 | 8.6 | 4 | 16.7 | - | - | - | - | 11 | 8.4 | 2 | 11.1 | - | - | 17 | 10.2 | 23 | 10.2 |
| 十分あった | 93 | 14.0 | 6 | 25.0 | 8 | 16.7 | 7 | 14.3 | 17 | 13.0 | 3 | 16.7 | 1 | 33.3 | 15 | 9.0 | 36 | 16.0 |
| どちらともいえない | 66 | 9.9 | 1 | 4.2 | 9 | 18.8 | 8 | 16.3 | 16 | 12.2 | 1 | 5.6 | - | - | 15 | 9.0 | 16 | 7.1 |
| 不足した | 20 | 3.0 | 1 | 4.2 | 3 | 6.3 | 1 | 2.0 | 7 | 5.3 | 1 | 5.6 | - | - | 1 | 0.6 | 6 | 2.7 |
| 大いに不足した | 19 | 2.9 | - | - | 3 | 6.3 | 2 | 4.1 | 2 | 1.5 | - | - | - | - | 3 | 1.8 | 9 | 4.0 |
| 不明 | 410 | 61.7 | 12 | 50.0 | 25 | 52.1 | 31 | 63.3 | 78 | 59.5 | 11 | 61.1 | 2 | 66.7 | 116 | 69.5 | 135 | 60.0 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |
| 5段階評価 | 3 | .58 | 4 | .08 | 2 | .96 | 3 | .11 | 3 | .53 | 3 | .86 | 4 | .00 | 3 | .82 | 3 | .64 |

表42 ミルクの備蓄状況

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-----------|-----|-----------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 非常に十分あった | 77 | 11.6 | 5 | 20.8 | 1 | 2.1 | 4 | 8.2 | 10 | 7.6 | 3 | 16.7 | - | - | 26 | 15.6 | 28 | 12.4 |
| 十分あった | 124 | 18.6 | 6 | 25.0 | 12 | 25.0 | 8 | 16.3 | 30 | 22.9 | 4 | 22.2 | 1 | 33.3 | 21 | 12.6 | 42 | 18.7 |
| どちらともいえない | 35 | 5.3 | - | - | 8 | 16.7 | 4 | 8.2 | 11 | 8.4 | 1 | 5.6 | - | - | 3 | 1.8 | 8 | 3.6 |
| 不足した | 11 | 1.7 | 1 | 4.2 | - | - | 1 | 2.0 | 5 | 3.8 | - | - | - | - | 1 | 0.6 | 3 | 1.3 |
| 大いに不足した | 17 | 2.6 | - | - | 4 | 8.3 | 1 | 2.0 | 1 | 0.8 | - | - | - | - | 3 | 1.8 | 8 | 3.6 |
| 不明 | 401 | 60.3 | 12 | 50.0 | 23 | 47.9 | 31 | 63.3 | 74 | 56.5 | 10 | 55.6 | 2 | 66.7 | 113 | 67.7 | 136 | 60.4 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |
| 5段階評価 | 3 | .88 | 4 | .25 | 3 | .24 | 3 | .72 | 3 | .75 | 4 | .25 | 4 | .00 | 4 | .22 | 3 | .89 |

表43 アレルギー児食の備蓄状況

| 20 / 0 / 0 / 1 | - / //// | H VVV | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|----------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 非常に十分あった | 52 | 7.8 | 3 | 12.5 | - | - | - | - | 11 | 8.4 | 2 | 11.1 | - | - | 20 | 12.0 | 16 | 7.1 |
| 十分あった | 64 | 9.6 | 2 | 8.3 | 5 | 10.4 | 3 | 6.1 | 9 | 6.9 | 2 | 11.1 | 1 | 33.3 | 14 | 8.4 | 28 | 12.4 |
| どちらともいえない | 106 | 15.9 | 4 | 16.7 | 11 | 22.9 | 11 | 22.4 | 23 | 17.6 | 2 | 11.1 | - | - | 21 | 12.6 | 34 | 15.1 |
| 不足した | 18 | 2.7 | 2 | 8.3 | 3 | 6.3 | - | - | 6 | 4.6 | - | - | - | - | 3 | 1.8 | 4 | 1.8 |
| 大いに不足した | 21 | 3.2 | - | - | 2 | 4.2 | 2 | 4.1 | 3 | 2.3 | - | - | - | - | 5 | 3.0 | 9 | 4.0 |
| 不明 | 404 | 60.8 | 13 | 54.2 | 27 | 56.3 | 33 | 67.3 | 79 | 60.3 | 12 | 66.7 | 2 | 66.7 | 104 | 62.3 | 134 | 59.6 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |
| 5段階評価 | 3 | .41 | 3 | .55 | 2 | .90 | 2 | .94 | 3 | .37 | 4 | .00 | 4 | .00 | 3 | .65 | 3 | .42 |

表44 飲料水の備蓄状況

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-----------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 非常に十分あった | 89 | 13.4 | 8 | 33.3 | 1 | 2.1 | 2 | 4.1 | 11 | 8.4 | 4 | 22.2 | - | - | 32 | 19.2 | 31 | 13.8 |
| 十分あった | 113 | 17.0 | 4 | 16.7 | 12 | 25.0 | 3 | 6.1 | 20 | 15.3 | 2 | 11.1 | 1 | 33.3 | 27 | 16.2 | 44 | 19.6 |
| どちらともいえない | 45 | 6.8 | - | - | 5 | 10.4 | 6 | 12.2 | 17 | 13.0 | 1 | 5.6 | - | - | 6 | 3.6 | 10 | 4.4 |
| 不足した | 27 | 4.1 | 1 | 4.2 | 6 | 12.5 | 3 | 6.1 | 11 | 8.4 | 1 | 5.6 | - | - | 3 | 1.8 | 2 | 0.9 |
| 大いに不足した | 30 | 4.5 | - | - | 3 | 6.3 | 4 | 8.2 | 7 | 5.3 | - | - | - | - | 6 | 3.6 | 10 | 4.4 |
| 不明 | 361 | 54.3 | 11 | 45.8 | 21 | 43.8 | 31 | 63.3 | 65 | 49.6 | 10 | 55.6 | 2 | 66.7 | 93 | 55.7 | 128 | 56.9 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |
| 5段階評価 | 3 | .67 | 4 | .46 | 3 | .07 | 2 | .78 | 3 | .26 | 4 | .13 | 4 | .00 | 4 | .03 | 3 | .87 |

表45 照明や暖房器具の状況

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-----------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|------|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 非常に十分あった | 111 | 16.7 | 1 | 4.2 | - | - | 5 | 10.2 | 2 | 1.5 | 1 | 5.6 | 2 | 66.7 | 49 | 29.3 | 51 | 22.7 |
| 十分あった | 280 | 42.1 | 4 | 16.7 | 9 | 18.8 | 26 | 53.1 | 42 | 32.1 | 8 | 44.4 | - | - | 75 | 44.9 | 116 | 51.6 |
| どちらともいえない | 132 | 19.8 | 5 | 20.8 | 11 | 22.9 | 14 | 28.6 | 30 | 22.9 | 2 | 11.1 | 1 | 33.3 | 30 | 18.0 | 39 | 17.3 |
| 不足した | 94 | 14.1 | 11 | 45.8 | 19 | 39.6 | 3 | 6.1 | 42 | 32.1 | 6 | 33.3 | - | - | 5 | 3.0 | 8 | 3.6 |
| 大いに不足した | 21 | 3.2 | 3 | 12.5 | 4 | 8.3 | - | - | 10 | 7.6 | 1 | 5.6 | - | - | 1 | 0.6 | 2 | 0.9 |
| 不明 | 28 | 4.2 | - | - | 5 | 10.4 | 1 | 2.0 | 6 | 4.6 | - | - | - | - | 7 | 4.2 | 9 | 4.0 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |
| 5段階評価 | 3 | .57 | 2 | .54 | 2 | .58 | 3 | .69 | 2 | .87 | 3 | .11 | 4 | .33 | 4 | .04 | 3.95 | |

表46 トイレ対策の有無

| 24.20 1 1 - 7.42/4 | > 13.7111 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 3 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| いる | 232 | 34.9 | 5 | 20.8 | 10 | 20.8 | 12 | 24.5 | 25 | 19.1 | 4 | 22.2 | - | - | 71 | 42.5 | 105 | 46.7 |
| いない | 400 | 60.2 | 19 | 79.2 | 34 | 70.8 | 34 | 69.4 | 95 | 72.5 | 14 | 77.8 | 3 | 100.0 | 91 | 54.5 | 110 | 48.9 |
| 不明 | 33 | 5.0 | - | - | 4 | 8.3 | 3 | 6.1 | 11 | 8.4 | - | - | - | - | 5 | 3.0 | 10 | 4.4 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表47 園児引渡しまでの備蓄品

| | 4 | 企 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-----------|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 非常に十分あった | 130 | 19.5 | 3 | 12.5 | 2 | 4.2 | 5 | 10.2 | 7 | 5.3 | 4 | 22.2 | 1 | 33.3 | 48 | 28.7 | 60 | 26.7 |
| 十分あった | 318 | 47.8 | 12 | 50.0 | 18 | 37.5 | 24 | 49.0 | 50 | 38.2 | 6 | 33.3 | - | - | 87 | 52.1 | 121 | 53.8 |
| どちらともいえない | 130 | 19.5 | 4 | 16.7 | 15 | 31.3 | 14 | 28.6 | 42 | 32.1 | 6 | 33.3 | 2 | 66.7 | 23 | 13.8 | 24 | 10.7 |
| 不足した | 36 | 5.4 | 3 | 12.5 | 3 | 6.3 | 2 | 4.1 | 18 | 13.7 | 2 | 11.1 | - | - | 3 | 1.8 | 5 | 2.2 |
| 大いに不足した | 15 | 2.3 | 1 | 4.2 | 6 | 12.5 | 1 | 2.0 | 4 | 3.1 | - | - | - | - | - | - | 3 | 1.3 |
| 不明 | 36 | 5.4 | 1 | 4.2 | 4 | 8.3 | 3 | 6.1 | 10 | 7.6 | - | - | - | - | 6 | 3.6 | 12 | 5.3 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |
| 5段階評価 | 3 | .81 | 3 | .57 | 3 | .16 | 3 | .65 | 3 | .31 | 3 | .67 | 3 | 3.67 | 4 | .12 | 4 | .08 |

表48 備蓄不足の有無

| | 4 | è 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-------|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 不足品あり | 298 | 44.8 | 10 | 41.7 | 30 | 62.5 | 26 | 53.1 | 62 | 47.3 | 8 | 44.4 | 2 | 66.7 | 70 | 41.9 | 90 | 40.0 |
| 不足品なし | 286 | 43.0 | 12 | 50.0 | 10 | 20.8 | 18 | 36.7 | 46 | 35.1 | 9 | 50.0 | 1 | 33.3 | 78 | 46.7 | 112 | 49.8 |
| 不明 | 81 | 12.2 | 2 | 8.3 | 8 | 16.7 | 5 | 10.2 | 23 | 17.6 | l | 5.6 | - | - | 19 | 11.4 | 23 | 10.2 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表49 備蓄基準の有無

| A 4 MM PM - 1 - 14 MM | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| あり | 134 | 20.2 | 1 | 4.2 | 3 | 6.3 | 8 | 16.3 | 5 | 3.8 | - | - | 1 | 33.3 | 52 | 31.1 | 64 | 28.4 |
| なし | 495 | 74.4 | 23 | 95.8 | 41 | 85.4 | 40 | 81.6 | 119 | 90.8 | 18 | 100.0 | 2 | 66.7 | 104 | 62.3 | 148 | 65.8 |
| 不明 | 36 | 5.4 | - | - | 4 | 8.3 | l | 2.0 | 7 | 5.3 | - | - | - | - | 11 | 6.6 | 13 | 5.8 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表50 備蓄基準の必要性

| 200 帰田生子り209 | ヘル | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 1 1 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 大いに必要 | 74 | 11.1 | l | 4.2 | 9 | 18.8 | 3 | 6.1 | 7 | 5.3 | 2 | 11.1 | - | - | 18 | 10.8 | 34 | 15.1 |
| 必要 | 325 | 48.9 | 10 | 41.7 | 22 | 45.8 | 30 | 61.2 | 65 | 49.6 | 9 | 50.0 | 1 | 33.3 | 80 | 47.9 | 108 | 48.0 |
| どちらともいえない | 165 | 24.8 | 10 | 41.7 | 11 | 22.9 | 7 | 14.3 | 32 | 24.4 | 2 | 11.1 | 2 | 66.7 | 42 | 25.1 | 59 | 26.2 |
| あまり必要でない | 33 | 5.0 | - | - | 2 | 4.2 | 6 | 12.2 | 7 | 5.3 | 1 | 5.6 | - | - | 10 | 6.0 | 7 | 3.1 |
| 必要なし | 32 | 4.8 | 3 | 12.5 | 1 | 2.1 | 1 | 2.0 | 7 | 5.3 | 3 | 16.7 | - | - | 7 | 4.2 | 10 | 4.4 |
| 不明 | 36 | 5.4 | - | - | 3 | 6.3 | 2 | 4.1 | 13 | 9.9 | 1 | 5.6 | - | - | 10 | 6.0 | 7 | 3.1 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |
| 5段階評価 | 3 | 3.60 | 3 | .25 | 3 | .80 | 3 | .60 | 3 | .49 | 3 | .35 | 3 | .33 | 3 | .59 | 3 | .68 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

表51 今後の備蓄対策

| | 4 | è 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|------|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 必要あり | 464 | 69.8 | 14 | 58.3 | 33 | 68.8 | 41 | 83.7 | 92 | 70.2 | 13 | 72.2 | 2 | 66.7 | 120 | 71.9 | 149 | 66.2 |
| 必要なし | 119 | 17.9 | 9 | 37.5 | 5 | 10.4 | 5 | 10.2 | 18 | 13.7 | 5 | 27.8 | 1 | 33.3 | 21 | 12.6 | 55 | 24.4 |
| 不明 | 82 | 12.3 | 1 | 4.2 | 10 | 20.8 | 3 | 6.1 | 21 | 16.0 | - | - | - | - | 26 | 15.6 | 21 | 9.3 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表52 保育再開日

| 20- 111111111 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|-----|-----------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 4 | 注体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 3月12日から | 455 | 68.4 | 19 | 79.2 | 12 | 25.0 | 19 | 38.8 | 33 | 25.2 | 9 | 50.0 | - | - | 147 | 88.0 | 216 | 96.0 |
| その他 | 198 | 29.8 | 5 | 20.8 | 36 | 75.0 | 30 | 61.2 | 95 | 72.5 | 9 | 50.0 | 3 | 100.0 | 15 | 9.0 | 5 | 2.2 |
| 再開していない | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 不明 | 12 | 1.8 | - | - | - | - | - | - | 3 | 2.3 | - | - | - | - | 5 | 3.0 | 4 | 1.8 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表53 保育の再開場所

| \$400 NI-12 > 12 NI2 | 24//1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 3 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 変更しないで | 636 | 95.6 | 24 | 100.0 | 43 | 89.6 | 49 | 100.0 | 124 | 94.7 | 17 | 94.4 | 3 | 100.0 | 158 | 94.6 | 218 | 96.9 |
| 他の場所で | 15 | 2.3 | - | - | 5 | 10.4 | - | - | 5 | 3.8 | 1 | 5.6 | - | - | 2 | 1.2 | 2 | 0.9 |
| 不明 | 14 | 2.1 | - | - | - | - | - | - | 2 | 1.5 | - | - | - | - | 7 | 4.2 | 5 | 2.2 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表54 保育時間の変更

| | 3 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 変更せず | 565 | 85.0 | 23 | 95.8 | 23 | 47.9 | 37 | 75.5 | 98 | 74.8 | 14 | 77.8 | 3 | 100.0 | 161 | 96.4 | 206 | 91.6 |
| 変更した | 86 | 12.9 | 1 | 4.2 | 25 | 52.1 | 12 | 24.5 | 29 | 22.1 | 4 | 22.2 | - | - | 1 | 0.6 | 14 | 6.2 |
| 不明 | 14 | 2.1 | - | - | - | - | - | - | 4 | 3.1 | - | - | - | - | 5 | 3.0 | 5 | 2.2 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表55 保育時間の変更日数

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|---------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|----|----|-------|----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| ~4日間 | 16 | 36.4 | - | - | 4 | 16.0 | 1 | 8.3 | 7 | 24.1 | 1 | 25.0 | - | - | 1 | 100.0 | 2 | 14.3 |
| 5~9日間 | 13 | 29.5 | - | - | 3 | 12.0 | 2 | 16.7 | 7 | 24.1 | 1 | 25.0 | - | - | - | - | - | - |
| 10~14日間 | 7 | 15.9 | - | - | 3 | 12.0 | 1 | 8.3 | 2 | 6.9 | - | - | - | - | - | - | 1 | 7.1 |
| 15~19日間 | 2 | 4.5 | - | - | 2 | 8.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 20~24日間 | 3 | 6.8 | - | - | - | - | 1 | 8.3 | 1 | 3.4 | - | - | - | - | - | - | 1 | 7.1 |
| 25~29日間 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 30日間以上 | 3 | 6.8 | - | - | 1 | 4.0 | 2 | 16.7 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 不明 | - | - | 1 | 100.0 | 12 | 48.0 | 5 | 41.7 | 12 | 41.4 | 2 | 50.0 | | | | | 10 | 71.4 |
| 合計 | 44 | 100.0 | 1 | 100 | 25 | 100.0 | 12 | 100.0 | 29 | 100.0 | 4 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 100 | 14 | 100.0 |

表56 職員勤務 (震災当時)

| | 소 | 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|---------|----------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 困ったことあり | 463 | 69.6 | 19 | 79.2 | 45 | 93.8 | 41 | 83.7 | 103 | 78.6 | 8 | 44.4 | 2 | 66.7 | 113 | 67.7 | 132 | 58.7 |
| 困ったことなし | 184 | 27.7 | 5 | 20.8 | 3 | 6.3 | 8 | 16.3 | 24 | 18.3 | 10 | 55.6 | 1 | 33.3 | 47 | 28.1 | 86 | 38.2 |
| 不明 | 18 | 2.7 | - | - | - | - | - | - | 4 | 3.1 | - | - | - | - | 7 | 4.2 | 7 | 3.1 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表57 職員勤務(震災半年後)

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|---------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 困ったことあり | 18 | 2.7 | - | - | 6 | 12.5 | 3 | 6.1 | 4 | 3.1 | - | - | - | - | 3 | 1.8 | 2 | 0.9 |
| 困ったことなし | 614 | 92.3 | 24 | 100.0 | 40 | 83.3 | 40 | 81.6 | 120 | 91.6 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 153 | 91.6 | 216 | 96.0 |
| 不明 | 33 | 5.0 | - | - | 2 | 4.2 | 6 | 12.2 | 7 | 5.3 | - | - | - | - | 11 | 6.6 | 7 | 3.1 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表58 保育活動 (震災当時)

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|---------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 困ったことあり | 396 | 59.5 | 16 | 66.7 | 38 | 79.2 | 36 | 73.5 | 83 | 63.4 | 9 | 50.0 | 3 | 100.0 | 97 | 58.1 | 114 | 50.7 |
| 困ったことなし | 240 | 36.1 | 8 | 33.3 | 9 | 18.8 | 10 | 20.4 | 40 | 30.5 | 9 | 50.0 | - | - | 61 | 36.5 | 103 | 45.8 |
| 不明 | 29 | 4.4 | - | - | 1 | 2.1 | 3 | 6.1 | 8 | 6.1 | - | - | - | - | 9 | 5.4 | 8 | 3.6 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表59 保育活動 (震災半年後)

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|---------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 困ったことあり | 111 | 16.7 | - | - | 11 | 22.9 | 30 | 61.2 | 23 | 17.6 | - | - | 1 | 33.3 | 30 | 18.0 | 16 | 7.1 |
| 困ったことなし | 521 | 78.3 | 24 | 100.0 | 35 | 72.9 | 17 | 34.7 | 99 | 75.6 | 18 | 100.0 | 2 | 66.7 | 127 | 76.0 | 199 | 88.4 |
| 不明 | 33 | 5.0 | - | - | 2 | 4.2 | 2 | 4.1 | 9 | 6.9 | - | - | - | - | 10 | 6.0 | 10 | 4.4 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表60 給食提供(震災当時)

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|---------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 困ったことあり | 404 | 60.8 | 16 | 66.7 | 43 | 89.6 | 39 | 79.6 | 101 | 77.1 | 7 | 38.9 | 1 | 33.3 | 78 | 46.7 | 119 | 52.9 |
| 困ったことなし | 235 | 35.3 | 8 | 33.3 | 4 | 8.3 | 7 | 14.3 | 25 | 19.1 | 11 | 61.1 | 2 | 66.7 | 82 | 49.1 | 96 | 42.7 |
| 不明 | 26 | 3.9 | - | - | l | 2.1 | 3 | 6.1 | 5 | 3.8 | - | - | - | - | 7 | 4.2 | 10 | 4.4 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表61 給食提供(震災半年後)

| Proz MHPCDCD (()P | ~ / ~ | 1/4/ | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---------------------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 3 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 困ったことあり | 123 | 18.5 | - | - | 4 | 8.3 | 26 | 53.1 | 21 | 16.0 | - | - | 1 | 33.3 | 49 | 29.3 | 22 | 9.8 |
| 困ったことなし | 511 | 76.8 | 23 | 95.8 | 42 | 87.5 | 22 | 44.9 | 104 | 79.4 | 17 | 94.4 | 2 | 66.7 | 109 | 65.3 | 192 | 85.3 |
| 不明 | 31 | 4.7 | 1 | 4.2 | 2 | 4.2 | 1 | 2.0 | 6 | 4.6 | l | 5.6 | - | - | 9 | 5.4 | 11 | 4.9 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表62 避難訓練

| | 4 | 企 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-------------|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 非常に生かせた | 273 | 41.1 | 9 | 37.5 | 18 | 37.5 | 18 | 36.7 | 43 | 32.8 | 4 | 22.2 | 3 | 100.0 | 70 | 41.9 | 108 | 48.0 |
| 生かせた | 307 | 46.2 | 13 | 54.2 | 20 | 41.7 | 27 | 55.1 | 65 | 49.6 | 13 | 72.2 | - | - | 76 | 45.5 | 93 | 41.3 |
| どちらともいえない | 61 | 9.2 | 1 | 4.2 | 11 | 22.9 | 4 | 8.2 | 17 | 13.0 | - | - | - | - | 10 | 6.0 | 18 | 8.0 |
| あまり生かせなかった | 14 | 2.1 | 1 | 4.2 | - | - | - | - | 4 | 3.1 | 1 | 5.6 | - | - | 5 | 3.0 | 3 | 1.3 |
| まったく生かせなかった | 2 | 0.3 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | 1 | 0.6 | - | - |
| 不明 | 9 | 1.4 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.8 | - | - | - | - | 5 | 3.0 | 3 | 1.3 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |
| 5段階評価 | 4 | .27 | 4 | .25 | 4 | .14 | 4 | .29 | 4 | .12 | 4 | .11 | 5 | .00 | 4 | .29 | 4 | .38 |

表63 避難用具

| 200 (200) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 非常に十分だった | 42 | 6.3 | - | - | 2 | 4.2 | 5 | 10.2 | 7 | 5.3 | 2 | 11.1 | - | - | 9 | 5.4 | 17 | 7.6 |
| 十分だった | 182 | 27.4 | 7 | 29.2 | 11 | 22.9 | 5 | 10.2 | 23 | 17.6 | 4 | 22.2 | - | - | 58 | 34.7 | 74 | 32.9 |
| どちらともいえない | 303 | 45.6 | 13 | 54.2 | 24 | 50.0 | 22 | 44.9 | 69 | 52.7 | 6 | 33.3 | 3 | 100.0 | 75 | 44.9 | 91 | 40.4 |
| 少し不足した | 94 | 14.1 | 4 | 16.7 | 8 | 16.7 | 15 | 30.6 | 20 | 15.3 | 5 | 27.8 | - | - | 13 | 7.8 | 29 | 12.9 |
| 大いに不足した | 7 | 1.1 | - | - | 1 | 2.1 | - | - | 3 | 2.3 | - | - | - | - | 2 | 1.2 | 1 | 0.4 |
| 不明 | 37 | 5.6 | - | - | 2 | 4.2 | 2 | 4.1 | 9 | 6.9 | 1 | 5.6 | - | - | 10 | 6.0 | 13 | 5.8 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |
| 5段階評価 | 3 | .25 | 3 | .13 | 3 | .11 | 3 | .00 | 3 | .09 | 3 | .18 | 3 | 3.00 | 3 | .38 | 3 | .36 |

表64 施設外の避難場所への避難訓練

| | 4 | è体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|----------|-----|-----------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 行っていた | 373 | 56.1 | 10 | 41.7 | 28 | 58.3 | 30 | 61.2 | 38 | 29.0 | 9 | 50.0 | 2 | 66.7 | 113 | 67.7 | 143 | 63.6 |
| 行っていなかった | 276 | 41.5 | 14 | 58.3 | 19 | 39.6 | 19 | 38.8 | 92 | 70.2 | 8 | 44.4 | 1 | 33.3 | 48 | 28.7 | 75 | 33.3 |
| 不明 | 16 | 2.4 | - | - | 1 | 2.1 | - | - | 1 | 0.8 | 1 | 5.6 | - | - | 6 | 3.6 | 7 | 3.1 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表65 園外保育中の避難方法

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|----------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 考えていた | 346 | 52.0 | 11 | 45.8 | 25 | 52.1 | 23 | 46.9 | 46 | 35.1 | 5 | 27.8 | 1 | 33.3 | 107 | 64.1 | 128 | 56.9 |
| 考えていなかった | 284 | 42.7 | 13 | 54.2 | 21 | 43.8 | 25 | 51.0 | 81 | 61.8 | 13 | 72.2 | 2 | 66.7 | 47 | 28.1 | 82 | 36.4 |
| 不明 | 35 | 5.3 | - | - | 2 | 4.2 | 1 | 2.0 | 4 | 3.1 | - | - | - | - | 13 | 7.8 | 15 | 6.7 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表66 震災後の避難の検討(火災時)

| 200 成火风火烟烟火 | 777713 | ()()(| HJ) | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--------|-------|------|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 検討した | 485 | 72.9 | 17 | 70.8 | 37 | 77.1 | 33 | 67.3 | 102 | 77.9 | 14 | 77.8 | 2 | 66.7 | 121 | 72.5 | 159 | 70.7 |
| 検討しない | 148 | 22.3 | 7 | 29.2 | 11 | 22.9 | 14 | 28.6 | 24 | 18.3 | 3 | 16.7 | l | 33.3 | 34 | 20.4 | 54 | 24.0 |
| 不明 | 32 | 4.8 | - | - | - | - | 2 | 4.1 | 5 | 3.8 | l | 5.6 | - | - | 12 | 7.2 | 12 | 5.3 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表67 震災後の避難の検討(地震時)

| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 検討した | 554 | 83.3 | 21 | 87.5 | 45 | 93.8 | 39 | 79.6 | 110 | 84.0 | 15 | 83.3 | 2 | 66.7 | 137 | 82.0 | 185 | 82.2 |
| 検討しない | 83 | 12.5 | 3 | 12.5 | 3 | 6.3 | 9 | 18.4 | 16 | 12.2 | 2 | 11.1 | l | 33.3 | 19 | 11.4 | 30 | 13.3 |
| 不明 | 28 | 4.2 | - | - | - | - | 1 | 2.0 | 5 | 3.8 | l | 5.6 | - | - | 11 | 6.6 | 10 | 4.4 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表68 震災後の避難の検討(水害時)

| | É | 注 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|-------|-----|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 検討した | 304 | 45.7 | 13 | 54.2 | 30 | 62.5 | 20 | 40.8 | 65 | 49.6 | 9 | 50.0 | l | 33.3 | 87 | 52.1 | 79 | 35.1 |
| 検討しない | 301 | 45.3 | 10 | 41.7 | 16 | 33.3 | 23 | 46.9 | 57 | 43.5 | 8 | 44.4 | 2 | 66.7 | 64 | 38.3 | 121 | 53.8 |
| 不明 | 60 | 9.0 | l | 4.2 | 2 | 4.2 | 6 | 12.2 | 9 | 6.9 | l | 5.6 | - | - | 16 | 9.6 | 25 | 11.1 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表69 緊急地震速報の設置の有無

| Proc Milliand Proc IV | 10 4 L | - 197111 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--------|----------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 4 | 全体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 設置あり | 196 | 29.5 | 9 | 37.5 | 14 | 29.2 | 7 | 14.3 | 24 | 18.3 | 4 | 22.2 | 3 | 100.0 | 68 | 40.7 | 67 | 29.8 |
| 設置なし | 438 | 65.9 | 15 | 62.5 | 33 | 68.8 | 40 | 81.6 | 100 | 76.3 | 13 | 72.2 | - | - | 92 | 55.1 | 145 | 64.4 |
| 不明 | 31 | 4.7 | - | - | l | 2.1 | 2 | 4.1 | 7 | 5.3 | l | 5.6 | - | - | 7 | 4.2 | 13 | 5.8 |
| 合計 | 665 | 100.0 | 24 | 100.0 | 48 | 100.0 | 49 | 100.0 | 131 | 100.0 | 18 | 100.0 | 3 | 100.0 | 167 | 100.0 | 225 | 100.0 |

表70 緊急地震速報の設置時期

| | 4 | è体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
|---------|-----|-----------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|
| | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 震災前より設置 | 110 | 56.1 | 6 | 66.7 | 8 | 57.1 | 2 | 28.6 | 14 | 58.3 | 2 | 50.0 | 2 | 66.7 | 40 | 58.8 | 36 | 53.7 |
| 震災後設置 | 60 | 30.6 | 2 | 22.2 | 3 | 21.4 | 4 | 57.1 | 9 | 37.5 | - | - | - | - | 19 | 27.9 | 23 | 34.3 |
| 不明 | 26 | 13.3 | l | 11.1 | 3 | 21.4 | 1 | 14.3 | 1 | 4.2 | 2 | 50.0 | l | 33.3 | 9 | 13.2 | 8 | 11.9 |
| 合計 | 196 | 100.0 | 9 | 100.0 | 14 | 100.0 | 7 | 100.0 | 24 | 100.0 | 4 | 100.0 | 3 | 100.0 | 68 | 100.0 | 67 | 100.0 |

表71 緊急地震速報の設置予定

| | - 71110110774101741 | LO 4 L | - / - | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------------|--------|------------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-----|----|-------|-----|-------|
| | | 4 | è 体 | 青 | 森県 | 岩 | 手県 | 福 | 島県 | 茨 | 城県 | 栃 | 木県 | 千 | 葉県 | 東京 | 都区部 | 東京 | 都市部 |
| | | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % | 園数 | % |
| 予 | 定あり | 85 | 19.4 | 6 | 40.0 | 7 | 21.2 | 7 | 17.5 | 13 | 13.0 | 2 | 15.4 | - | - | 19 | 20.7 | 31 | 21.4 |
| 予 | 定なし | 276 | 63.0 | 8 | 53.3 | 22 | 66.7 | 22 | 55.0 | 74 | 74.0 | 7 | 53.8 | - | - | 51 | 55.4 | 92 | 63.4 |
| 不 | 明 | 77 | 17.6 | l | 6.7 | 4 | 12.1 | 11 | 27.5 | 13 | 13.0 | 4 | 30.8 | - | - | 22 | 23.9 | 22 | 15.2 |
| 台 | ·計· | 438 | 100.0 | 15 | 100.0 | 33 | 100.0 | 40 | 100.0 | 100 | 100.0 | 13 | 100.0 | 0 | 0.0 | 92 | 100.0 | 145 | 100.0 |

所在地 ご意見 登園は何も大変なことはなかった。金曜日午後の停電も日曜日夕方には電気がついたので保育には支障がな 青森県 かった。土曜日の登園児はとても少なく保育には影響しなかった。近くのレストランから営業できないので と言って食品の無料提供があり食料について困ることはなかった。 当園は津波の被害にあいましたが、園児、職員とも怪我もなく無事に避難できました。しかし反省も残りま した。直ぐにマニュアルを作り直し、職員で共通理解に努めています。 当園は高台にあるため、津波等の被害はありませんでした。ただ停電があったため、保護者への、からの連 絡は大変苦労しました。地震の時間が午睡中だったため、園児等のケガはありませんでした。地震発生以降 は車のガソリン不足や食料も予定以外のもので給食を作ったりお弁当持参等で何とかできました。 位置的に大丈夫とのことであったが自主的に避難体制をとった。"もしも""万一"ということを常に頭にお いて体制をとって行きたいと改めて思った。 通信手段が途絶えたため不安でした。水は止まらずガスはプロパンのため使用できましたが、浄化槽が動か ないため悪臭がしてきたこと。電気が点かないため、夕方以降の保育の不安がありました(車で暖をとって 過ごしました)。全員怪我なくお返しした時はほっとしました。 このたびの大地震において、PTSD対策を盛り込むことを気づかされた。 園舎改築時鉄筋コンクリート壁式構造なので地震で倒壊することはないと設計士に言われているので信じて 岩手県 いる。 放射能に関して人体被害、職員、食物等の安全はどうか大変心配しています。 当保育園は津波浸水想定外の場所にあったが、近くを流れている川へ津波が逆流し、あと数十センチで決壊 するところだったという情報を当日の夕方知り、それから施設外へ避難したということがあり、被害がなか ったのが不幸中の幸いでした。今回の震災で様々なことを考え直し、危機管理について検討を重ねています。 震災直後は停電、断水、食料、ガソリン不足ととても生活面での不便を感じ節約を心がけていましたが、時 間の経過とともに意識が薄らいでいるのが現実です。 お迎えに来なかった子ども達と山間の民家に5日間お世話になりました。発電機、地下水、薪、ストーブ、 大型マメタンコタツ、食料も十分で助かりました。ガソリン不足で家に帰ることもできませんでした。 岩手の内陸部の保育園で、今回は大変恵まれた状況にあったが、これ以上の地震等が来ないとは言えず、そ れらの対応策を講ずる必要を感じている。 内陸の保育園なので、津波の恐怖はありませんが、揺れの恐怖は今でも忘れません。津波により多くの命を 失ったことは悲しいことですが、その命が今後の私たちの安全を考えさせてくれたと思っています。防災に ついて職員、父兄、大人が幼い命をしっかり守れるような策を考えていこうと思っています。 岩手県沖、宮城県沖という地震はいつか来ると思いながら実際に備えていないことが沢山あり、もし沿岸の ようであったらと思うと身震いしてしまいます。是非、危機感を持つことを感じました 震災直後、備品を持たずに避難したため避難所で不便した。備品がある場所を職員に周知する必要があると 思った。 ロッカーや靴箱など大きめのものは全てL字型の金具で大工さんに留めてもらっていた。カゴやテレビなど 耐震用マットを敷いていたおかげで落下物は少なく、音を立てなかったため子どもたち、職員が落ち着いて 行動できたと思われる。 今回保護者がお迎えに来た子どもが津波の被害犠牲になりました。お渡ししないで園にいたらと思い残念で なりません。緊急時の行動、保護者の方も含め一緒に考えなければと思い緊急時のお迎えについては控えて 頂き、避難所へ移動していることをすでに話して周知して頂きました。 仮施設での保育を行っているため、質問事項にあわない回答もあったかと思います。 今回は備蓄品を必要としなかった。 (会津) 当地方は津波はなく、地震被害は軽微であったが、その後放射能が心配された。当日はみぞれ混じ 福島県 りの雪が降っており、園庭でブルーシートの屋根を作ってしのいだ。寒さ対策の必要性を感じた。 今回私たちの所は震災と共に放射能の問題が関わってきます。今現在も毎日線量を計り、積算量を計り、子 ども達の食の安全、表土除去、施設の除染など園長自ら行動しています。外に出るのにも30分と決め室内外 の線量を計り、室内に戻ってからも計ります。また外に出るときは長ズボンで室内に入る際交換するなどい ろいろ工夫し取り組んでいます。早く安心できる日が来ることを祈っています。 いわき市は3/11、4/11、4/12の3回地震あり。3回とも震度6で大変でした。合わせて放射能にて戸外生活、 食料に大変でした。三団体補助金も私のところは園舎外の沈下により給排水がだめになり、多額の修繕費で 大変です。建物の被害には多額の補助あり。外はないのが不都合です。給排水、舗装し直しと大変でした。 いわき市は3回の地震、放射能と園庭の土の入れ替えと本年は赤字決算です。 地震よりも放射能の数値に脅えています。子どもが外で遊べないなんて子どもではありません。いくら健康 に害はない数値ですと言われても信用できません。せめて0.15マイクロシーベルトになったら戸外で遊ぶよ

うにしようと決めています。

今回の震災で避難訓練の想定の甘さを感じた。大きな災害の経験がないので…。福島県は大きな災害に直面することはないという安易な気持ちがあったように思う。「子どもの命を守る」ことが我々の使命であることを強く感じた。安全面について園舎内外の点検もする。福島県の南に位置する町なので放射線量は低いが、戸外活動が制限され、安全と保護者の安心を得るまでの不便なストレスが大きい生活から、表土の入れ替えを実施することによって理解を得て、現在はやっと戸外で遊ぶ子どもたちの歓声が聞こえ、安堵しているところです。

喜多方市内なので揺れによる恐怖はありましたが、目に見える被害はありませんでした。備蓄品については 予想したことがありませんでした。米とおやつのせんべい類は受け払い簿をつけています。常時米は多くて 10kgです。その他の食品は必要となった時に購入しています。備蓄品は施設の予算で購入してよいのですか。 今回の震災で建物の構造に自信を持った。土台もしっかりしており、園舎内、外とも被害は水道管1ヵ所のみ。 福島は東日本大震災といいましても震災の被害と原発事故による被害と両方あるのです。単に大震災で片付

福島は東日本大震災といいましても震災の被害と原発事故による被害と両方あるのです。単に大震災で片付けてもらいたくないのです。一番苦しんでいるのは黙っている子どもたちなのです。どうやって心のケアをしてやるのか日本の問題として国民全員で取り組んでもらいたいものです。(すみません、余計なことを書きました。思いやりは言葉ではなく行動ですよね)

放射能の問題が一番心配(子ども達の健康がどうなのか?)。赤ちゃんや小さい子(未満児)の入所の数が減少して経営が苦しい。収入減がかなり心配。ごみの焼却場が近いので、瓦礫焼却されると健康問題や園のイメージダウンにつながるのではないかと心配される。

今回の地震では、耐震工事を数年前にしていたこともあり園舎への被害もなく園児も早い段階で保護者に引き渡すことができ、とても幸運だったと思う。地震の訓練はもちろんしていたが、今回のように大きすぎる地震ではマニュアル通りにいかないことも多かった。しかし保護者への連絡にしても全く通じないが、待っているとすぐに迎えに来たので困ることはなかった。津波の心配も土砂崩れの心配もないので助かった。

地震に備えるノウハウを構築することが非常に大事であり、避難後、安全に降園し、翌日以降どうするかまでの最悪の情況での保育をどうするか、全職員でのノウハウの共有・訓練が必要である。また、原子力災害を想定した訓練も実施し、子どもと保護者、職員の安全管理・避難を訓練する必要がある。福島県はいまだに原子力災害中であり、復興に至っていない。毎日放射線との戦いである。

防災危機管理のマニュアルが有りましたら参考にしたいと思う。初めての経験なので園児は勿論保護者への 対応園舎内外の整備など安全、安心への対応に苦労してます。

東京電力原発で水素爆発あり(3月12日)。10月11日まで休園となった。30圏外で保育となり少人数を預かる臨時保育園開園。本日10月11日再開となる。

今回の震災では近所の方々にもお助けいただき、誰一人怪我をすることなく避難することができました。日頃から近所の方々と関係を持ち「ここに保育園がある」という認識を持ってもらうことの大切さを改めて感じました。

原子力発電所事故で大変困っております。

今だかつてない未経験の事態に対処すべきことが多かった。特に放射線の恐怖はあらゆる面で行動を制限され、幼い子の命を守るべく現在も日々努力している。震災時全国の多くの方々からのご援助、自衛隊の皆様の活躍に心から御礼と感謝を申し上げたい。園児、保護者、職員の絆が深まり現在一体となって歩いております。

茨城県

震災後3日目に市の福祉課から民間保育園の園長の召集があり、2日後に保育再開と聞いたまでは良かったのですが、給食提供と聞いたときは正直考えてしまいました。市の方からの具体策がなかったので少しがっかりしました。

当園は海・川に近くそして平地で避難すべく高台や高い建物がなく、津波に対しては対処の方法がない。

地震、津波、放射能・・私たちにはどうしようもない天災や事故だが、あっという間に私共に降りかかる災であることを実体験し、怖ろしさを感じた

私たちがやらなければならないことが沢山あることは分かったが、何をどうすることが万全なのかが分からない。机上で紙面での整備ではなく、本当に役立つ術をご指導いただけたらと思う。

今回の大震災により(津波への不安から)子どもを退所させる保護者が相次いでいます。私どもの園は県北 の高萩市にありますが被害の大きかった北茨城市に隣接しているため、津波への恐怖心のある保護者が見受 けられます。心のケアが大切になっていると実感しています。

現在の園舎は改築して8年目になります(旧園舎だったら震災に耐えられなかっただろうと思いました)耐震性があり、窓ガラスもペアガラスでいくらか耐えられる物になっていると実感できました。総敷地も1200坪から2400坪に広がりましたので園内が安全地帯になりました。樹木を50本ほど木陰用に植えられていますので震災時に倒木しないよう点検を怠らないようにしています。大切な命を育む施設として「安全」「清潔」には努力しています。

放射線の問題が解決されず、どこまで安全なのかが分からず日1日不安な状況です。

先の見通しがあれば園庭で待っていなくてもよかったように思った。ベランダでは落下物もなく待っていられたように思う。一番困ることは原発。いつも原子力の方は情報が遅く、正しい情報がないので一番困る。 昨今、緊急事態時のマニュアル化が叫ばれているが、マニュアル通りにいかないのが非常事態です。想定外の事変が起こったときこそ、臨機応変な行動がとれるよう日頃から意識することが重要と考えます。

午睡中だったためパジャマでした。第2避難場所の園庭に出たとき、雪まじりの雨が降り寒くて長時間いられず室内に戻った。布団を頭からかぶり身を守れたことは良かったが、不安になった子ども達の着替えが思うようにできなかった。電話が使用できず保護者との連絡が全く取れず、夕方からは車の中で迎えを待った。1歳児が親子で避難所生活をしたため、トラウマとなり集団の中が困難になった。毎月の避難訓練は職員も子供もその成果がみられ、とっさの行動がとれた。そんな中で例年通り地震体験車の訓練は行いますか?という町(消防署)の声掛けは信じられませんでした。

お迎えのところですが、3月11日皆さん17時までには1名の園児以外はお迎えに来てくれ最後の園児も18時には迎えにきてくれました。職員は遠いから16時より帰ってもらいました。地域的なこともありますが、やはりライフラインが復旧しない時は休園した方がよいと思います

津波時にマニュアルどうりに行動した小児が多く亡くなり本能で逃げ出した子どもは助かっている(某小学校)。何と解釈すればよいのか…。

日々の避難訓練の成果がみられ、泣く子もなく保育士も冷静に対応でき避難することができた。連絡が取れない状況の中、保護者はわが子の安全を確認するまではいてもたってもいられなかったであろうと、お迎えにいらした時の表情を今も忘れられません。その親の思いをしっかり受け止め、保育にあたりたいと思っています

人命を守ることが最優先であること。建物の修復は可能であるが命は戻らないということ。

あらゆる想定外のことも頭に置き、対応策を考えています。情報をしっかりキャッチし判断ミスのない様心がけたいです。日頃の避難訓練の成果が出ました。今後につなげたいです。

2006年に新築したばかりなので、耐震構造もしっかりしており、ほとんど被害はなかった。

災害時こその防災放送 (地震の時なし)

建築業者の引き渡しから1週間後に東日本大震災が起こり、地震の揺れの大きさに不安と恐怖で泣き出す子もいた。被害も少なく旧園舎でなくて良かったと思いました。この度東日本大震災や福島原発等で被害にあわれた保育園に心からお見舞い申し上げます。

津波浸水地域の児童福祉施設を高台移転する場合の速やかな認可と補助金の交付。現施設の補助金返還の減免措置。

とても大変なことでしたが地域、保護者、周りの人たちに支えられ助けられていることに感謝です。そのような保育園だからこそ必要とされるものになりたいと「世界が滅んでも保育園だけは開いている」というような気合を持って頑張っていきたいと。

栃木県 帰宅困難となった園児のための食料品の備蓄とストーブ等の暖房器具とその燃料を確保できるような対策を してほしい。

賃貸物件で保育園運営を行っていた。建物が損壊したため引越しを余儀なく行ったが、そのため罹災証明も発行されず、何の公的援助がもらえなかった。全て園負担で行っている。子どもたちのため!と思い支援がなくても職員全員で頑張っています。私たちのような園が今後出ないことを祈っています。

栃木県は被災地でありますが、当園は大きな揺れは感じられましたが直接的な被害はほとんどなく、とても 参考になるアンケートにはなりませんでした。被害にあわれた園の早期の復旧を心からお祈り申し上げます。

千葉県

園での対応策については=情報が変わるたびに掲示、手紙、HP(モバイル用)にて開示し始めました。災害発生後の園の避難方法については全保護者に周知し、園からは落ち着かない限り連絡はしない。子どもの安全確保優先を理解してもらいました。想定外をどれだけ少なくするか、平和な時に職員・保護者・地域と話し合っておくことが大切だと改めて感じ、行動し始めています。

東京都区部

被災地でも東京でも保育園は安全だということが高く評価されたのは喜ばしい。(子どもの命を預かる場だから当然か?) しかしだからといって職場がパパやママを帰してくれないのは大変困る。うちの園では3歳未満児ばかり14人も残っていた(11時近くまで、うち2歳児一人は翌朝9時まで)。普段と全く違う生活を夜遅くまで強いられ、大泣きして泣き寝入りし、多少PTSDが出た。

都内の園ですので物的被害はとても少なかったですが、やはり保護者との連絡、引き渡しに苦労しました。 職員にも小さい子供を預けていたり、小中学生を家においてきている者も多く、そちらも早く帰してあげた い反面、在園する子供も多くつらかったです。結果としては、近所に住む職員や独身の職員(計画停電中も) に助けられました。

今回の震災は初体験で色々なことを考え直したり見直したりする良い機会となりました。アンケート結果や 方法論などきっと貴重なご意見が集まるのではないかと思います。何か参考になること、学べることがあっ たらフィードバックをしていただけると幸いです。 幸いに都心部にありながら大きな揺れの割には物一つ落ちることなく外部の情報を聴くことで大震災と知る。しかしそれ以上の地震であればどうなのか、不安がある。できる対策はとるが予測を超える事態になったことを考えると不安はある

被災された地区より先日園児が入園(転園)してきました。追跡調査らしきものをしている様子で、今だ大変な思いの中生活しているのだなと感じました。

災害に備えての対策が必要だということは今回非常に強く感じたが、備蓄品については保管するスペースが限られているのでどこまで必要なのか判断に迷っている。また、避難場所、ルート、方法等その時の状況に合わせて臨機応変に対応することも大切であると感じた。

3月の地震で母親が児を迎えに園に向かっているが交通機関が麻痺して来られず、父親とは連絡とれず(父親は仕事をしていた)事実もあった。

放射能対策で苦労しています!

当園は地盤がしっかりしているので液状化などなく、揺れだけだったが津波など大きな被害にあわれた方に はお見舞い申し上げます。

連絡体制について-保護者との直接連絡には時間がかかった。安心して過ごせるためにホームページ掲示板を設置。情報交換できるようにした。放射能について-数値が高い、公園も高く安心して遊べる場がない。 食品についても数値が明らかにされていない。安心して生活できる環境づくりをどう進めていくのか、乳幼児の現場からも意見を出していく必要があるのでは。

室内(園内)待機か避難場所へ移動するかの判断。余震が続きそのたびに悩んでいた。職員の人数が少ない(早番、遅番)時間帯の人数確保。

大きな揺れに見舞われた翌日の土曜日、いつもと変わらず登園してきた子どもたち。前日の不安感のあった子ども達の様子を考えると何が何でも保育園に預けるという選択肢しかないのかなと考えてしまった。こういうときにお休みができない職種の方がいるのも十分に理解しています。保育園は全力でお子さんを守りますが、園が万全ではありませんと便りで伝えてしまいました。

震災が発生した時は何より情報の入手を最優先課題にすること。あわてて外に飛び出さず、園内に留まることを目標とする。被災者を受け入れる体制や条件を確保すること。ボランティアを受け入れ、援助を要する人へつなげる体制をとること。

選択肢の設定に疑問を感じ。各園色々な情況に置かれ、色々な対応をしており、判断に困る選択肢や該当しない選択肢もある。また設問も抽象的で、答えにくい。もっと具体的な対策を検討できるような設問にしないとあまり意味がないのではないか

放射能の影響で外国人が退園させられた(一時帰国)、東電に減少分を補填してもらいたい。

新宿区は計画停電にならなかったので停電の不便さはなかった。特に当園は調理器具および機材がオール電化ということでとても助かった。他の地域の方の大変さを体験せずにすんでとてもよかった。

震災当日母親に連絡を取ると「職場にいたほうが安全であるため一晩止まることにした。子どもも保育園で 泊まるようにしてほしい」といわれ迎えに来る気のない返事であった。父親と連絡が取れ、結局は父親が迎 えに来てくれたが、震災後といういつもと違う雰囲気と度重なる余震の中、子どもたちは全員不安と緊張の 表情で保護者が迎えに来てくれることを心待ちにしていた。世間では今後も震災等でライフラインがストッ プしてしまった時には「帰らないで職場で待機していたほうが安全だ」と言われているが、子ども達にとっ ては1分でも1秒でもいいから早く迎えに来てほしいと思う。「保育園にいるから安全」だけではなく、子 どもの心情を世間に伝える必要があると考える。

都内帰宅困難者の問題と子ども達の不安。大地震で道路状況が危険な場合は広域避難場所への移動は困難だ と思う。

今回の震災での直接的な被害はほとんどなかったが、施設の災害時の弱点(建物だけではなく地域性や保護者への対策)が浮き彫りになり、現在予想できる範囲での対策は考えている。放射能の問題も大きくなってきているので園としてどう対応すべきかの課題に取り組んでいく。

予測もつかない震災だったので震災後震災セミナーに参加し、災害対応を見直した。

食品・飲用水の備蓄は3日分と一般常識のように巷で言われ、行政もそのように言っているようであるが、定員分(もしくは職員分も加え)3日分を常備することは非現実的ではないか。備蓄するためのスペース、保存期限の管理と入れ換え、入れ換えに伴う在庫処分の問題、通所施設として備蓄量をどの程度にするのが適切か、現実的な考え方を協会として発信していくのが望ましい。登園では当日の給食(昼+夕食)に加え、何らかの理由でお迎えに来ることのできない人数を1/3とみて、その分の職員と合わせ、プラス2食分を目安として備蓄している。

今回は震度5だったので転倒した物もなく、けが人もいなかった。あらゆる物の転倒防止策を行うことの必要性を改めて感じた。保育園が避難場所になった場合の毛布、食料等の備蓄について今の段階では足りていない。全園児、職員2日分くらいしかない。

園児も保護者も保育者も災害時はすぐ帰宅させるのではなく園舎が安全であればとりあえず様子をみようと 思う。但し津波に関しては高台が見当たらなく不安です。近くに小学校があるが川も近くにあり不安材料が 一杯。今後一つ一つより安全へ向かうよう検討していく。

一番心配なのは連絡(安否確認)網。

震災と原発事故が重なっていて対応が多岐に渡り園の迅速な対応がいかに必要か考えさせられた。都会ならではの対応…お迎えに来られない親の子どもをどのようにお迎えまで保育するか。そんな中職員の子育てをどのように支援すべきか考えることは一杯あった。

避難するときは職員の人手が必要だと改めて思った。

備蓄品も買い揃えているが不足のままの物もあり、補助金・倉庫など行政での援助が必要だと思う。

連絡方法が一番困った。どういう状況なのかお互いの確認がとれる方法はないのかと思います。保護者の安全を考えると引取りをどこまで伝えていくのか悩むところです。

放射能による水の不安が報道された時に近所の方がミルク用に飲料水を持って来て下さり助かった。日頃の近隣とのつながりの大切さを考えさせられた。今後地域に根ざした保育園のあり方を話し合って行きたい。

今回の地震で沢山の教訓を頂きました。大切なお子さんの安全を守るために今後一層マニュアルの改善、訓練の見直しなど常日頃の心構えをもっていきたいと思っています。

いろいろ見直し備品を補いました。避難通路についても確認しあった。

東京都市部

災害時に基本的にどのように対応するかのマニュアルがあるとそれを参考にしながら各保育園独自の対応を付け加えて考えられると思う。東京では保護者が交通機関ストップにより子供のお迎えに来れない事への対応も大きなものとなっている。

アンケートの結果を参考に更に検討させていただきます。災害後災害時のマニュアルを整え直し、教訓として生かしつつ訓練内容をより細かにしました。各園でその後の対応について引き続いていると思いますので、参考にさせて頂きます。

先日の台風もすごかったです。隣の公園の大きな木が折れたり、倒れたりしていました。

訓練と実際では違う事を今回は震災から離れた場所にいても体験しました。防災マニュアルを園全体でもう一度確認して作り直しています。ただマニュアルがあってもその時の状況判断で子供たちを安全に避難させるのは職員等の経験に基づくものではないかと思います。

備蓄品について各園ばらばらの量だと思う。是非、何人分の何日分等を決めていただき、賞味期限〜年、備蓄品の購入に補助金を考えてほしいと思います。

ガラス破損防止のために地震時に窓を閉める。園外避難時、戸締りをすることを追加しました。

保育園だけではやれることが限られています。都・市がもっと面倒をみてほしい(備蓄品や人件費)。保護者にも都・市からお迎えに行くように指示してほしい。何が何でも園で子どもたちを預かるのではなく、保護者(家にいる人や迎えに来られる人)はもっと協力してほしい。園が安全だと知って迎えに来ない方がいたので。

季節により準備するものが異なってくるので備蓄品の一考。昼寝用のパジャマを廃止した。発生した時間により多方面にわたり考えを変える必要あり。

今回当園では被害はありませんでしたがもっと大きな地震に見舞われたらと不安に思います。とっさの判断が正しくできるかどうか心配ですが、訓練を色々なケースで行っておくことが大切と感じています。

備品や避難器具の補助金が少なすぎる。災害に対応できるよう補助金を今年度だけでもよいので出してほしい。幼稚園との格差を感じる。

放射能の影響についての不安をどう扱うか。

東京の部分停電も実施されなかった所でしたので、不便なことは全くありませんでした。恵まれていたと思います。

原発・放射能のことが心配です。現在、市の方が週に一度園庭、砂場の測定をして下さったり給食の食材の 測定を実施して下さっています。子どもの命を守る私たちがどのように対処していったらよいか考えてしま います。

電車が止まり交通渋滞がおき、お迎えに来れなかった保護者が多かったので、何か起きたときにすぐにお迎えに来てもらえる人を皆さんに改めて考えてもらういい機会になったと思います。

行政との連絡や保護者との連絡が取れるように。

記入するにあたり、記憶が薄れかけていることが分かりました。大事に至らないためにも再度防災計画の見 直しをしてみたいと思います。

指導検査時の転倒防止について細かく指導して頂いたお陰で園内の物は一つも床に落ちなかった。避難用具等子ども、職員の命を守るのに年15万の施設機能推進費の補助金は少ないと感じる。保護者の震災に対する意識が低い。保育園にいれば大丈夫だと思い込んでいる。

緊急時、園児の安全確保とその情況を保護者へどのように伝えるかが日頃より考えておくことが大事だと思った。保育所も避難場所として機能を持っているのでその活用についても決めておきたい。

立川断層帯が今後注目されているということで地震が起きたらとんでもないことになる。今十分な対策を考えなくてはいけないと思う。保育園では今もお弁当を持ってくる1名、水筒10名と放射能に不安な保護者が多数いることへの対応が大変。

停電後発電機を車庫から取り出してきたがキャブレターが腐食していてエンジンがかからなかった。日頃からの点検の大切さを実感した。エネルギーを電力一本に頼らないことの大切さも実感した。当園は薪ストーブに灯油による床暖房、空調をGHPで対応していたため停電中も暖には不自由しなかった。

連絡手段をどうするかが一番困っていることです。携帯持っている人がほとんどですので、グループメール (?) 等くくって園から一斉送信という方法を考えているのですが、実際は動き出していません。どの園もそのような方法での連絡を望んでいるのではないかと思います。このことのノウハウ等を考えてくださると有難いです。

3月12日に市から大丈夫ですかと連絡がありました。3月11日にも連絡してくださったそうですが連絡がつかなかったようです。先日の台風の時も電車が止まり停電(近隣)している所もあり、3月11日同様保護者が迎えに来られず、職員も帰るに帰れない状況でした。地震に限らず災害について今後も万全の体制で備えて生きたいです

今回のアンケート結果を集計したものを是非いただき、同じ職をしている方々が実際にどのように動かれたのか、また被害状況やそれ以降の対応方法など参考資料となると思うので冊子を作成していただきたい。また、このような大地震が来た際に子どもを預かる施設としてどのようにしたらというような研修の場もほしい

特に被害も困ったこともありませんでしたが、今後の課題は山積みしていますので、防災対応を全て見直し を続けているところです。

幸私どもの園では被害はありませんでしたので、実際の所何が十分で何が不十分だったか分からないところが多く、質問に対して正しく答えられていないかもしれません。他の園でどのような対策を取っているのか知る機会でもあると思うので、ぜひ今回のアンケートの中を知らせて頂きたいと思います。

毎年の指導検査(東京都)で文書指摘があるとの理由で園舎の建て替えが実施できない。災害前の検査時(12月)に災害時の対応について何点か市、都に聞いたが、市「何もない」都「あると思うが知らない。ホームページ等で調べて下さい」との回答。危機意識は皆無であった。

震度が今回のようだったら部屋の中のほうが安全である。部屋の中の一番しっかりした場所を救急法講師の 先生の助言で実際に確認した。園が一つになって避難する事の難しさを感じ、子どもを守るには職員一人一 人の判断力がきちんとしていないといけない。と分かり話し合った。今放射能(特に給食食材)が非常に心 配です。

災害によりいろんな状況が想定されるので考えられることはやって行きたい。心配なことは電気が供給されなくなり園舎の機能が大幅に低下してしまった時の対応。

以前から防災関係に関しては改善、検討をしていたので、特に大きな戸惑いはなかったです。日頃の訓練を 生かし、泣く子もなく済みました。

放射能は見えないので事前にどのような危険があるのか今何をしなければいけないか (雨にあたらない等)。 の情報を速やかに流してもらえると対応ができる。情報を隠すことはやめてほしいと思っている。

これほどの地震があったのに先日の台風の時にお迎えがとても遅くなった家庭があった。"のど元過ぎれば"は非常に困る。

4月より耐震補強工事あり9月10日終了

震災そのものよりもその後の計画停電の方が今後の参考となることが多かった。

台風15号の時は学童にも行かず、母子家庭の上の子も保育園に来て母の迎えを待ちました。

他園での対応、マニュアルなど集計したものがあれば欲しいです。

東日本大震災が起こり貴重な体験をしましたので、大切なお子様の命をお預かりする職業として、避難訓練の細かい見直しと強化を図った。(安全、安心)

保護者の連絡方法として市全体の方法が考えられないか?安全確認だけでも知らせられたらと思う。今後保護者の帰宅困難者が増えた時は保育の体制を考えねばならず、備蓄食品のあり方も考えたいと思う。

災害時の対策について気を付けている点など事例があれば教えていただけたらと思います。

地震発生から所長を中心に職員は児童の安全を確保し迅速に対応できた点はよかった。しかしその後どのような判断で建物の内に入るか、余震を警戒した保育をするにあたっては経験したことがなく判断基準が必要であると感じた。